

令和5年度大阪府献血推進審議会

と き 令和6年2月8日（木）
午後2時～午後4時

ところ KKRホテル大阪 2階 「白鳥」

次第

開会挨拶

議題

- (1) 血液事業の現状について
 - ・大阪府における血液事業の現況
 - ・献血推進に係る大阪府の取組み
 - ・大阪府学生献血推進協議会活動報告
- (2) 令和6年度大阪府献血推進計画（案）について
- (3) その他

事前送付資料

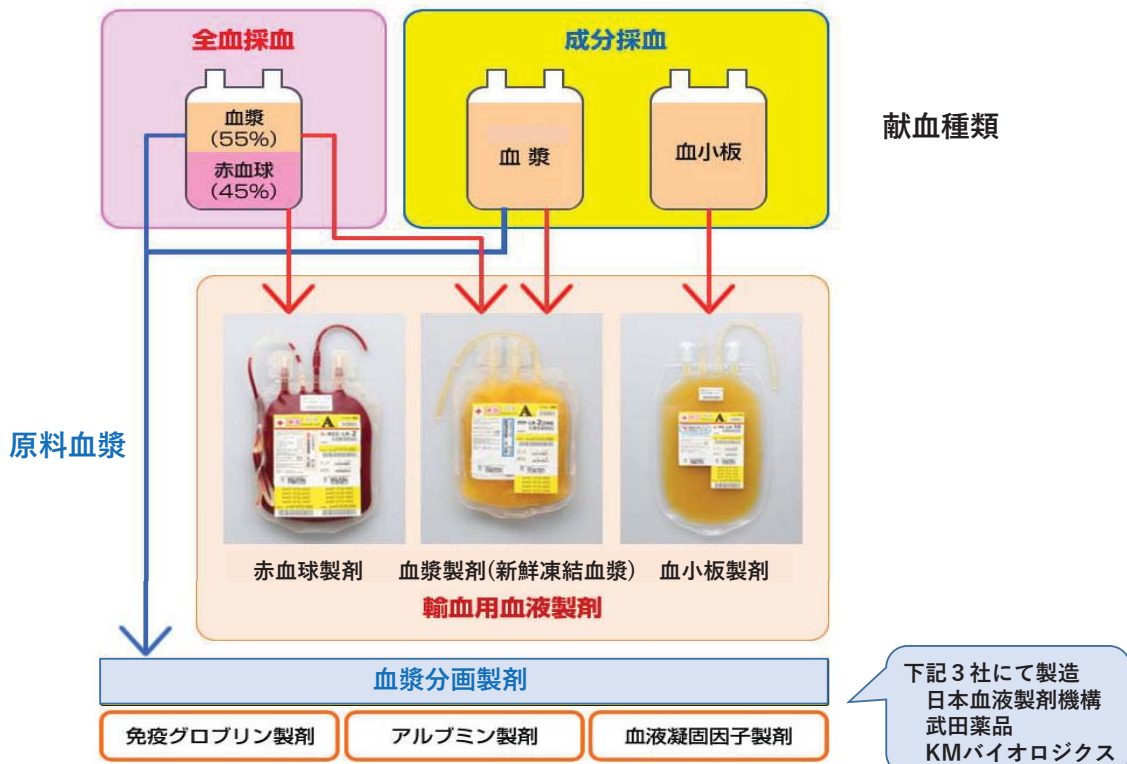
- ・ 次第
- ・ 令和5年度大阪府献血推進審議会委員名簿
- ・ 資料1 大阪府における血液事業の現況（大阪府赤十字血液センター）
- ・ 資料2 献血推進に係る大阪府の取組み（大阪府医療対策課）
- ・ 資料3 大阪府学生献血推進協議会活動報告（大阪府学生献血推進協議会）
- ・ 資料4 令和6年度大阪府献血推進計画（案）

2024年2月

大阪府における血液事業の現況

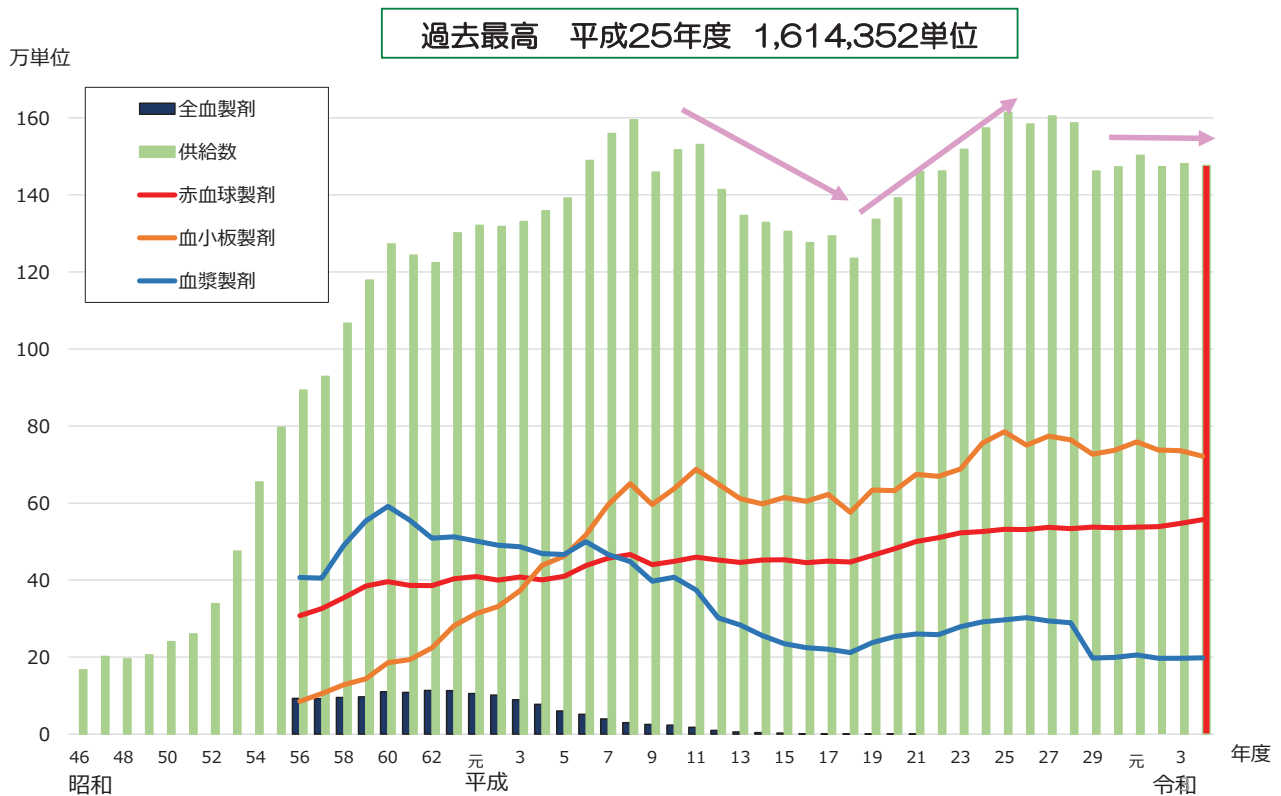
大阪府赤十字血液センター
所長 平山 文也

1



2

輸血用血液製剤供給数推移（大阪府、過去50年）



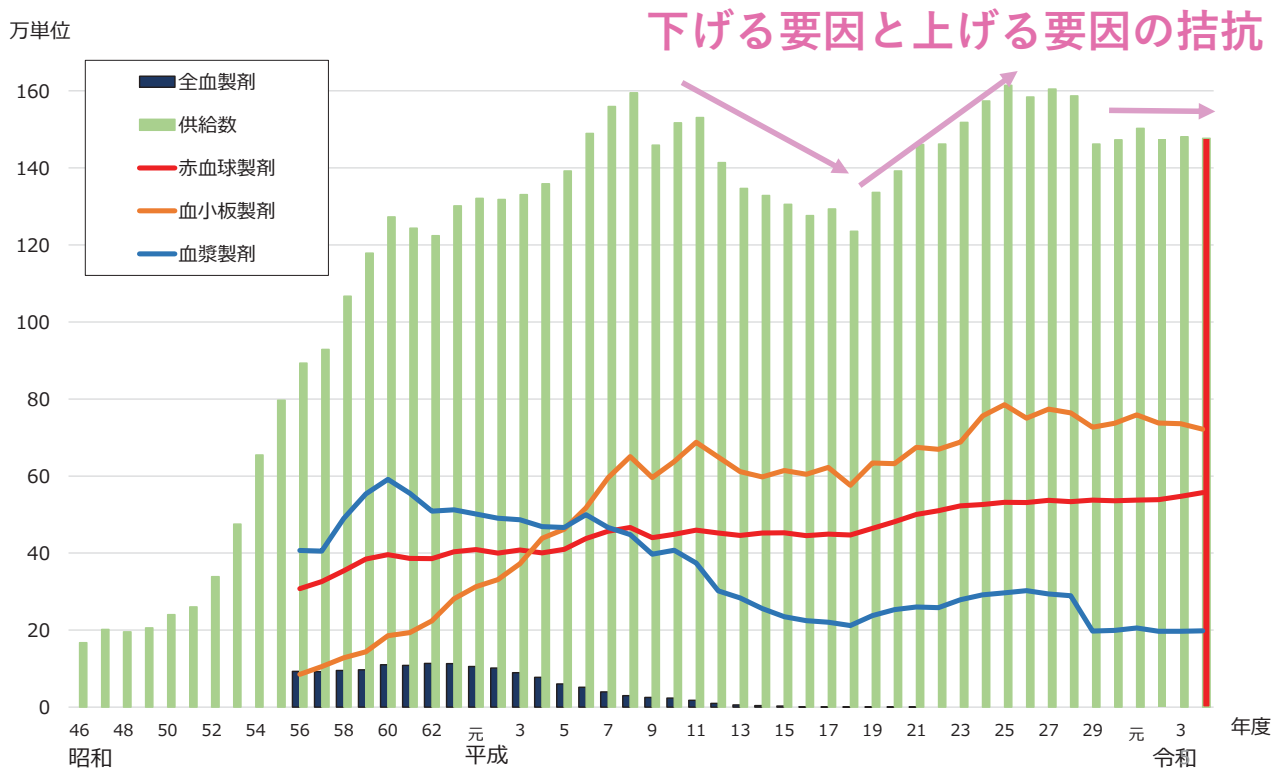
輸血数（量）を押し下げる要因

- ・ 血液製剤適正使用の浸透
- ・ Patient Blood Management の浸透
同種血輸血を可能な限り回避するためのプログラム
例：術前の貧血の改善、術中の自己血回収装置の使用
- ・ 治療法の改善
- ・ 術式の改善
- ・ 手術ロボットの登場による出血量の減少
- ・

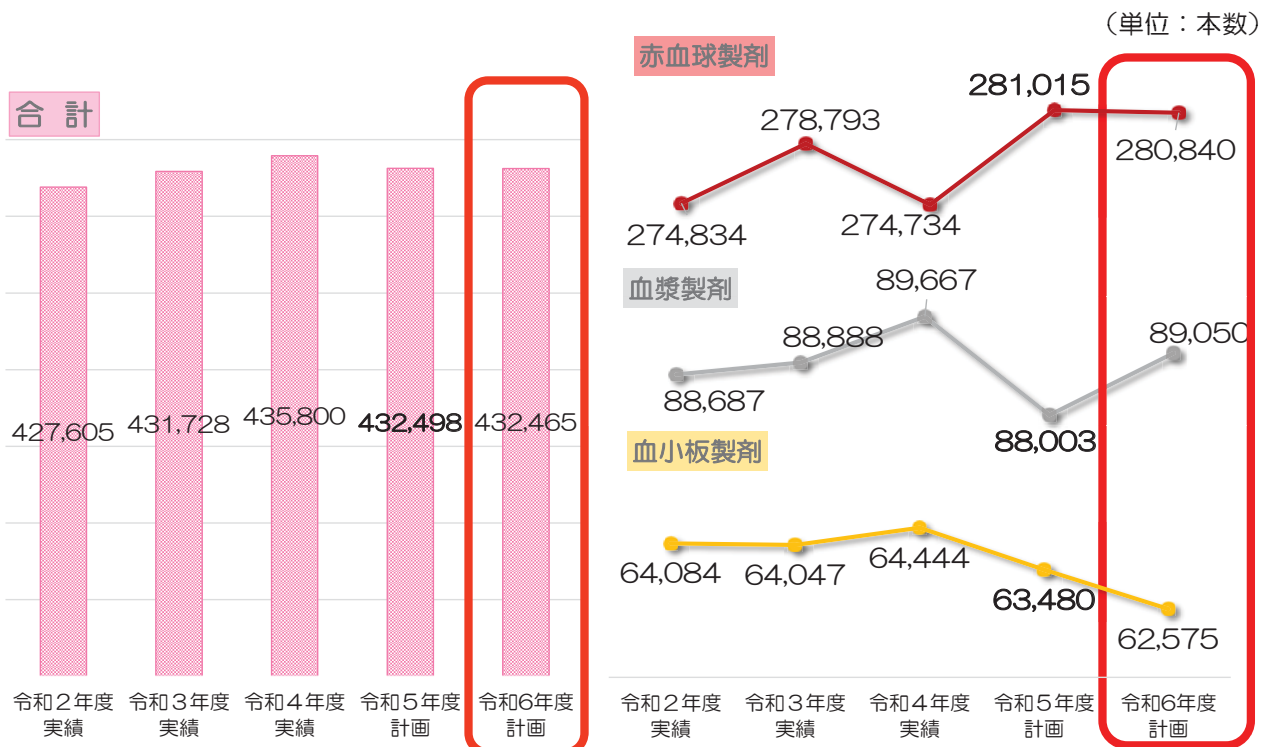
輸血数（量）を押し上げる要因

- ・ 高齢者人口の増加（有病者の増加）
- ・ 高齢者の体力増強（80, 90歳でも手術、積極的治療に耐える）
- ・

輸血用血液製剤供給数推移（大阪府、過去50年）



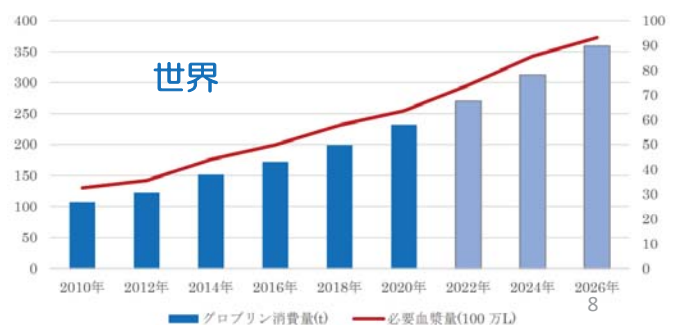
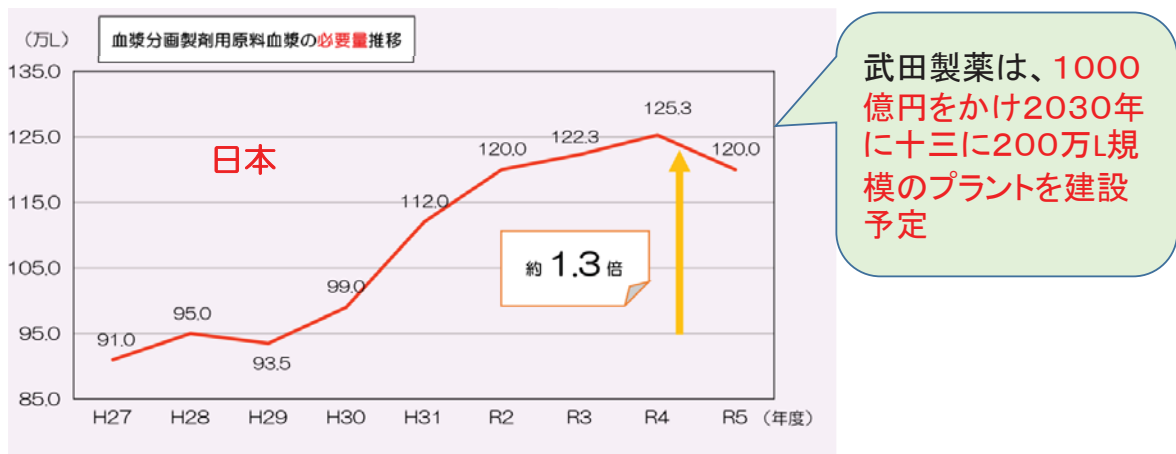
輸血用血液製剤供給数推移（大阪府、直近4年）



原料血漿送付量の推移



原料血漿送付量の推移



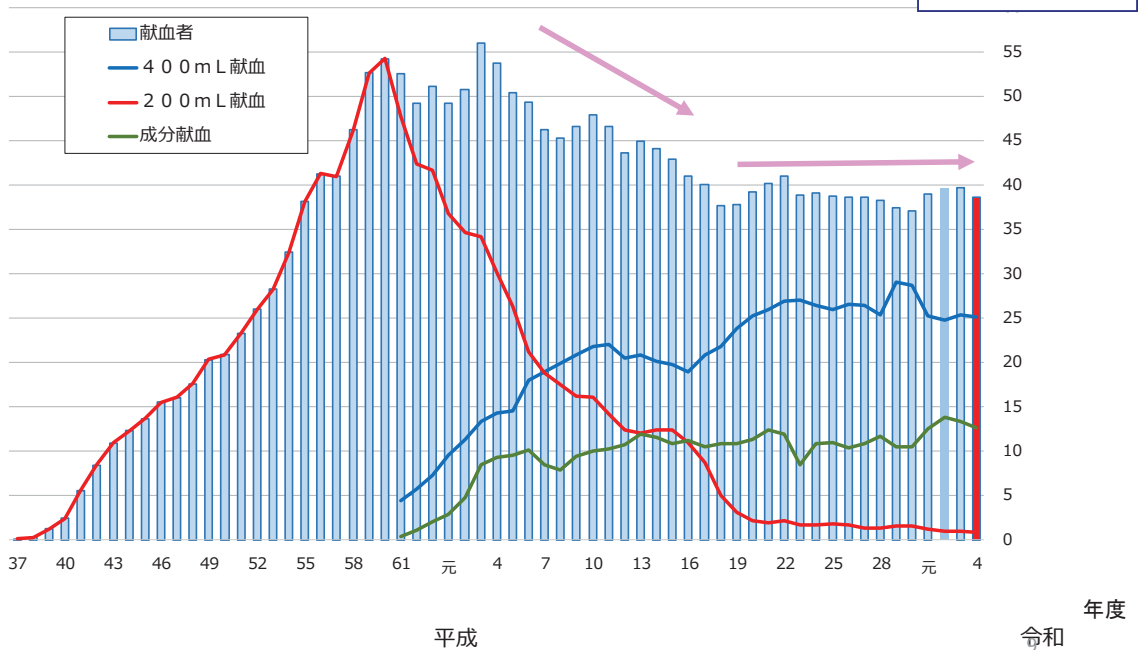
献血者数推移（大阪府、過去60年）

令和4年度 大阪府
献血率 4.4%

万人

平成3年度 56万580人

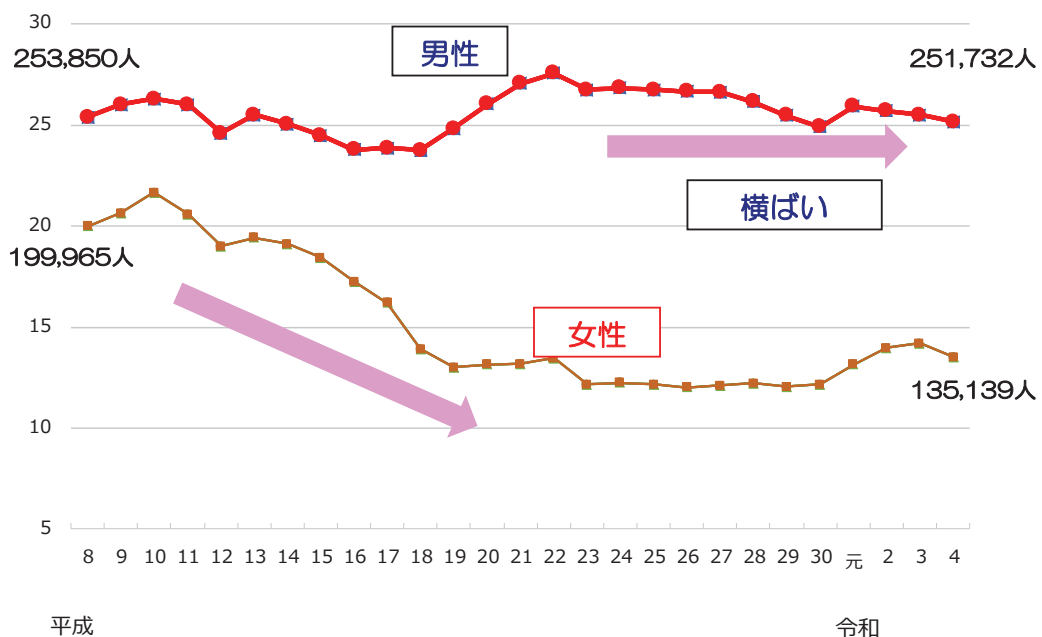
令和4年度
38万6,871人
(約31%減少)



男女別献血者推移（大阪府）

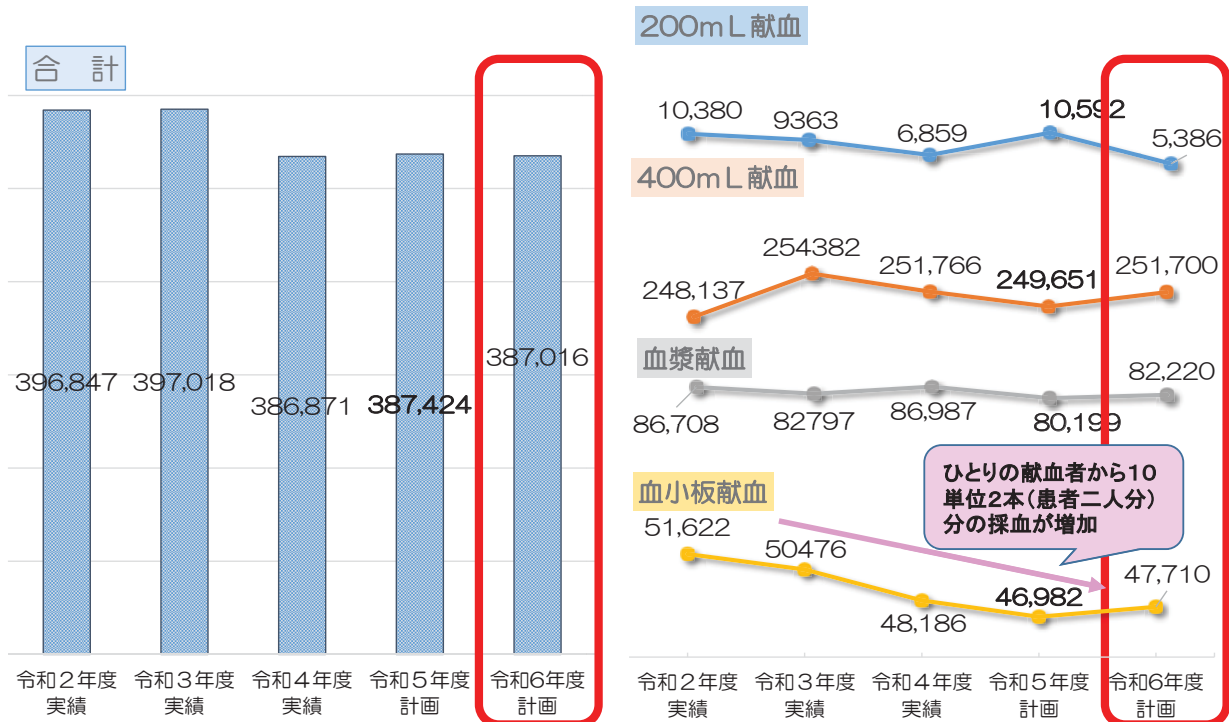
万人

ポイント：400mL献血が中心となり、女性が減少した



献血者数推移（大阪府、直近4年）

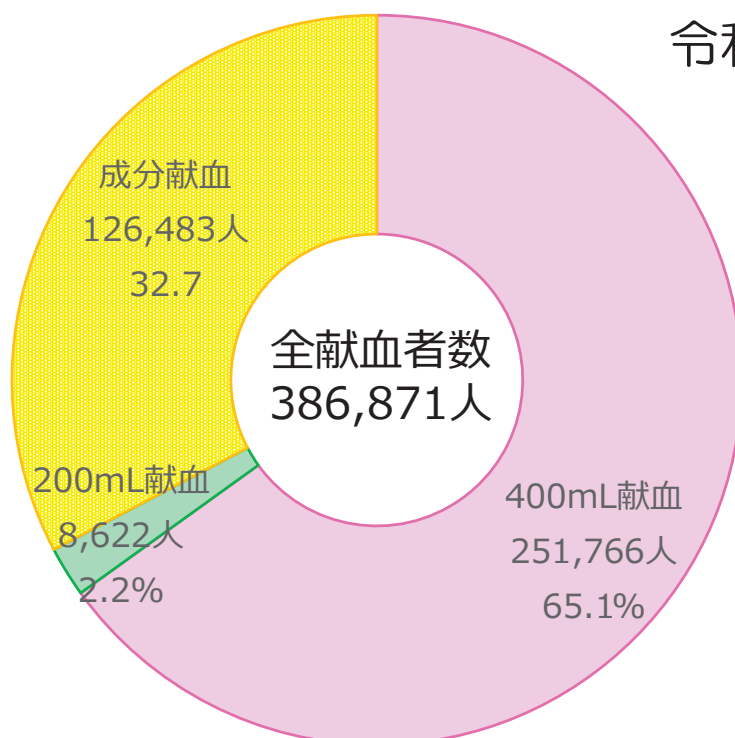
（単位：本）



11

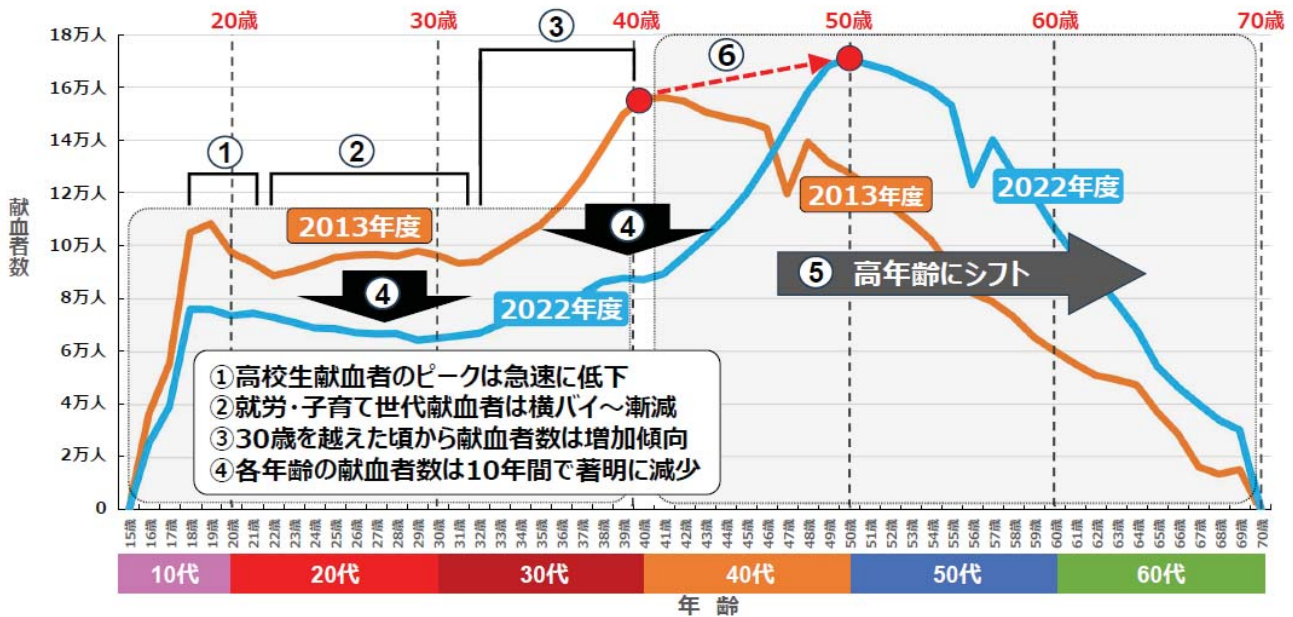
献血方法別献血者数（大阪府）

令和4年度実績



12

年齢別献血者数の推移（全国）



13

若年層献血者の確保

年代別目標献血者数（令和6年度）

（単位：人）

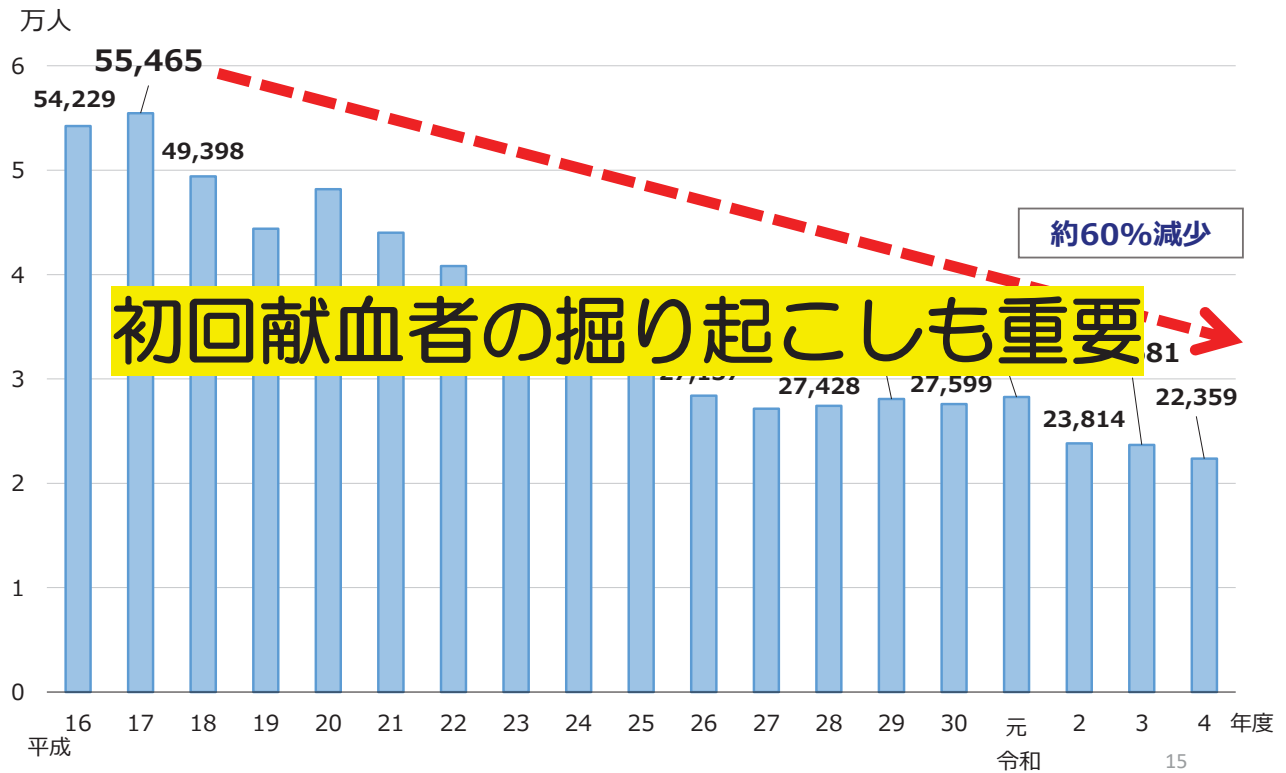
年代	人数	構成比	令和4年度実績	構成比
10代（16～19歳）	19,599	5.1%	14,238	3.7%
20代（20～29歳）	31,315	8.1%	31,315	15.1%
30代（30～39歳）	66,300	17.1%	55,957	14.5%
小計	151,399	39.1%	128,510	33.3%
40代以上（40～69歳）	235,617	60.9%	258,361	66.8%
合計	387,016	100.0%	386,871	100.0%

少子化への対策が重要

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。

14

初回の献血者数（大阪府）



少子化による献血者減、初回献血者掘起こしにかかる対策

- 年齢層別の対策
- 社会貢献をキーワードにしたした協力企業対策

➡ 献血者（初回を含む）の増
献血回数が増

小学生：「献血おもしろゼミナール」

第26回 献血 おもしろゼミナール 3年ぶりに開催します!

小学生対象 血液センター見学会

7月26日(木)・27日(金)・28日(土)

10:00~12:00
14:00~16:00

7月6日(木)・7日(金) 電話予約受付期間

場所 大阪府赤十字血液センター 7階 研修室

対象 小学生(主に3~6年生)
(18歳以上の保護者同伴)

申し込み 電話にて要予約
7月6日(木)・7日(金)

40分

内容

1. アニメーションを使用したスクリーンを中心に、小学生のみなさんに興味をもってもらえるよう献血や血液の話をします。また、途中アニメも挟みます。話を聞いていただくのが中心に、参加形式で進めます。
2. 血液センター内の金庫、採血室など実際に見学していただきます。献血血液がどのような過程を経てお薬(輸血用血液)になり、病気に罹られるのをお見せいたします。

いっしょに血液の勉強をしよう

お申し込み(予約)・お問い合わせは
大阪府赤十字血液センター
0120-983-120



中学～大学生：出前献血セミナー



写真：大阪府立工芸高等学校

中学～大学生：

- 施設見学会の開催
- 献血セミナーの実施
- 学校献血・課外活動の実施



献血セミナー



施設見学



献血啓発活動



若年層献血者：はたちの献血キャンペーン



つなげ、
その「ち」から。

必要なのは年間500万人以上の協力。そう、献血はチーム戦だ。
誰もが安心して生きられる未来。サステナブル。
言葉にするだけじゃ、何も変わらない。
問われているのは、私たち全員の使命感。
積みつけることでしか、その未来は見えてこないのだから。
つなげ、その「ち」から。

赤十字は、
動いてる！
+ SAVE365



はたちの献血

行ったほうがいいのかはわかってる。
でも、ちょっと難しし。
いろいろ予定もあるし。
さているの、もうやめたい？
そう、次は私たちの番に。
つなげ、はたちの「ち」から。

赤十字は、動いてる！ + 日本赤十字社



21

少子化による献血者減、初回献血者掘起こしにかかる対策

- 年齢層別の対策
- 社会貢献をキーワードにした協力企業対策（働盛り対象）



献血者（初回を含む）の増
献血回数が増



Amazon Blood

献血活動へのご協力に
感謝申し上げます!

2022年4月にTYO6(坂戸FC)で開始した献血活動は、日本赤十字社様とのコラボレーションにより、全国21か所、述べ30サイトからのご参加を頂きました。
AmazonのFCとDSは、多様な勤務形態の皆さまが集まる職場ですが、コロナ禍の影響で輸血用の血液が不足する状況に気持ちをひとつにして頂き、運営スタッフの想像を超えるご参加者が集まりました! みなさんのボランティア精神で病気と闘う人々や医療の現場を直接的に応援できるのが、Amazon Blood です。

<p>Amazon Bloodは累計で1,000人以上、献血の意思を表明し、300L以上の献血にご参加しました。 みんな一緒に献血活動を行っています。みんなが献血活動に参加することで、世界中の「Donor Team」を盛り上げ、その結果として大きな献血活動を実現しています。</p> <p>TYO7サイトリード 阪口さん</p> 	<p>皆さんの少々の献血で助けられる中、そして支える皆さまがあります。献血活動を通じて社会貢献の一環として、自分たちの献血活動を通じて社会に貢献したいと考えています。皆さんの献血活動を通じて、社会に貢献したいと考えています。</p> <p>KIX2サイトリード 金子さん</p> 	<p>Amazon Bloodへのご協力ありがとうございます。献血活動を通じて社会貢献の一環として、自分たちの献血活動を通じて社会に貢献したいと考えています。皆さんの献血活動を通じて、社会に貢献したいと考えています。</p> <p>埼玉県赤十字血液センター 小泉さん</p> 	
<p>FCは関係者の献血活動を通じて、献血活動の一環として、自分たちの献血活動を通じて社会に貢献したいと考えています。皆さんの献血活動を通じて、社会に貢献したいと考えています。</p> <p>DTK3 DSM 今野さん</p> 	<p>献血活動を通じて社会貢献の一環として、自分たちの献血活動を通じて社会に貢献したいと考えています。皆さんの献血活動を通じて、社会に貢献したいと考えています。</p> <p>TYO6サイトリード 松下さん</p> 		

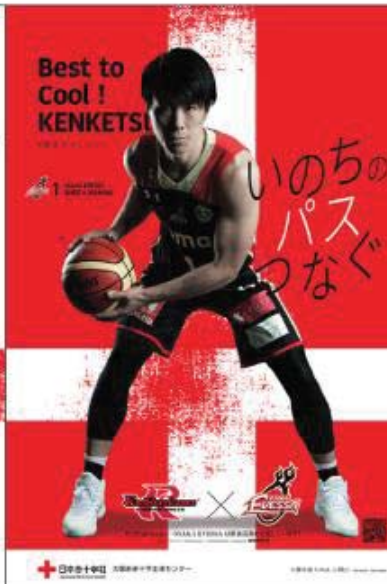
2023年もAmazon Bloodへのご参加を宜しくお願い致します!!

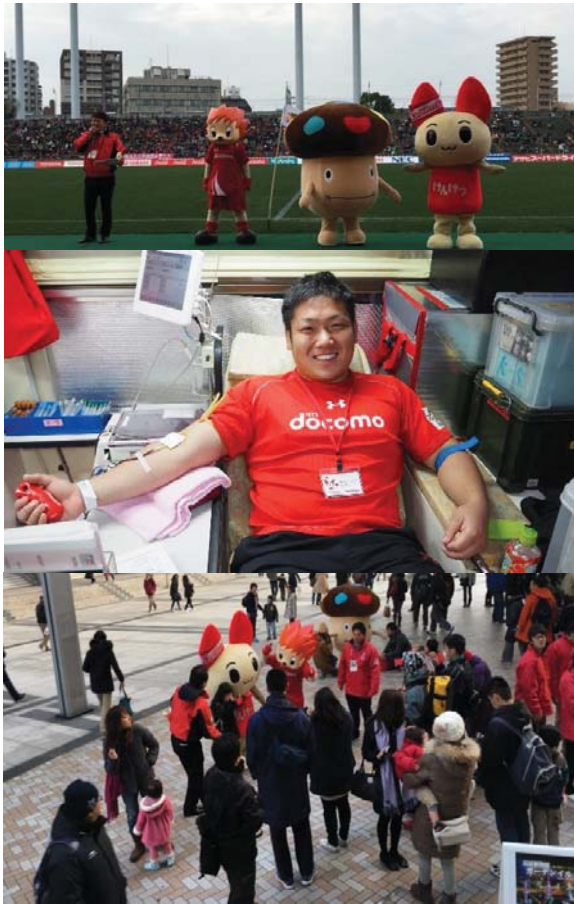
Amazon 配送センターにて



「いのちのパスつなぐ」ポスター

プロラグビーチーム NTTドコモ レッドハリケーンズ
プロバスケットボールチーム 大阪エヴェッサ





ラグビーチーム
NTTドコモ
レッドハリケーンズ 献血協力



25

複数回献血への取り組みの一手法として：
献血Web会員サービス 「ラブラッド」

ラブラッドとは

ラブラッドは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。
Webサイト・アプリ、どちらからでも献血の予約、
事前の問診回答などが可能になりました。
献血会場での混雑の回避、滞在時間の短縮、
接触機会の削減ができるので、安心して安全、より手軽に献血協力ができます。

スマホアプリ版が
はじまりました！



献血予約

Webサイト・アプリから献血予約が可能!当日予約(3時間前)*もできるので、お近くの献血会場を選択して、手軽に献血できます。
*献血会場によっては当日予約できない場合があります。



事前問診回答

これまで献血会場でしかできなかった問診回答がWebサイト・アプリからできるようになりました。



献血の利便性もアップ

血液検査の確認

ご自身の献血記録をいつでも確認することができます。



会員特典

ご協力いただいた献血種類に応じて、献血ポイントがたまります。また献血予約することで予約ポイントも付与されます。それらはオリジナル記念品と交換が可能です。その他、イベントやキャンペーン情報のご案内や、便利な機能を多数備えています。



27

複数回献血への取り組みの一手法として：

全血献血

血液中の全ての成分を採血する献血
赤血球製剤は、真血、外科手術前後などに使用されます
赤血球製剤の有効期間は採血後21日間

ご協力いただける年間の献血回数
男性 3回まで
女性 2回まで
400mL献血の場合
採血時間は10~15分程度です

成分献血

血液中の血小板+血漿だけを採血する
重症感染症や血友病、くすりの原料にもなる
血小板製剤の有効期間は採血後4週間

ご協力いただける年間の献血回数
男性・女性 合計で 24回まで
採血時間は40~90分程度です

ダブル献血

献血には2種類のご協力方法があります!

ダブル献血 スケジュール例

男性	全血 400mL	← 12週間以上 →	全血 400mL	← 8週間以上 →	成分	成分	成分	← 8週間以上 →	成分	成分	成分	← 8週間以上 →	全血 400mL
女性	全血 400mL	← 16週間以上 →	全血 400mL	← 8週間以上 →	成分	成分	成分	← 8週間以上 →	成分	成分	成分	← 8週間以上 →	全血 400mL

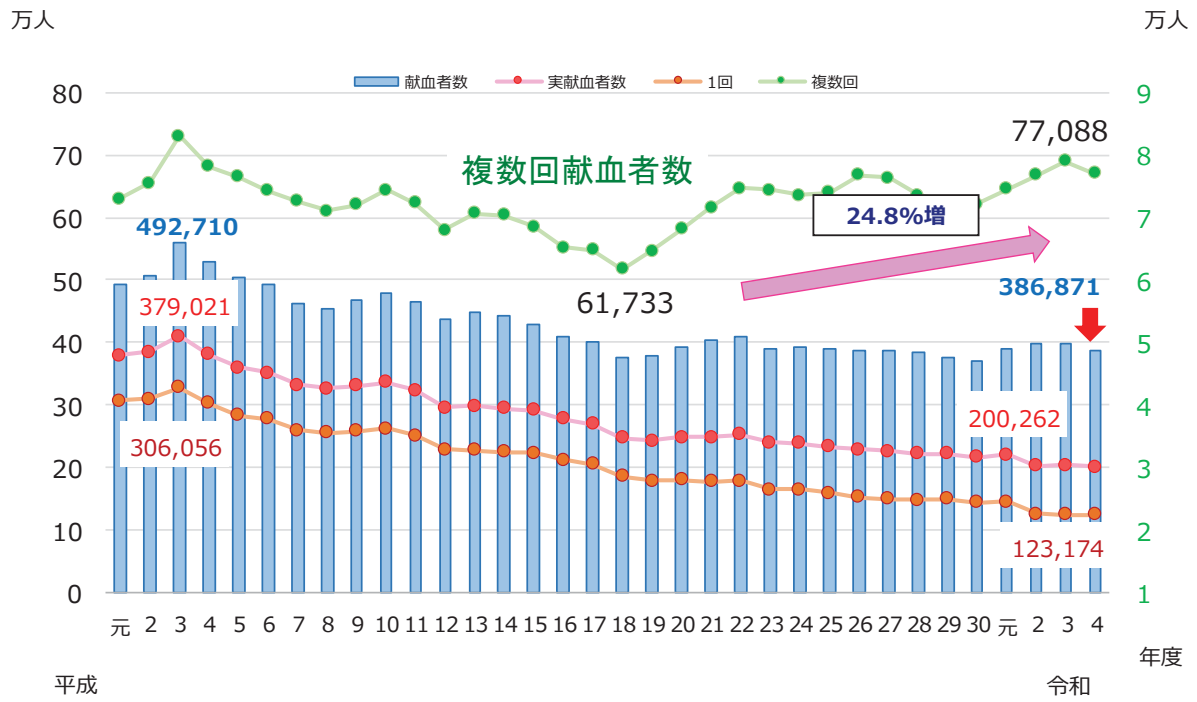
※全血=全血献血 ※成分=成分献血

「全血献血・成分献血」2種類の献血によって 助かるいのちがあります

元気になったよ! ありがとう!

28

複数回献血者 の増加(大阪府)



献血推進に係る大阪府の取組み

令和4年度大阪府献血推進計画目標の達成状況について	1
令和5年度献血目標（抜粋）	2
令和5年度献血推進会議・事業計画	3
献血推進に係る大阪府の取組み	4
各市町村献血推進協議会 広報実施状況	5
各種広報活動	7
デジタルサイネージによる啓発	8
若年層の献血推進	9
令和5年度献血啓発作品ポスター原画募集 優秀作品	12
高校生街頭献血キャンペーン	17
献血セミナー	18

令和4年度大阪府献血推進計画目標の達成状況について

1. 献血者数の確保

目標値

①献血者数

	全血献血		成分献血		合計
	200mL	400mL	血漿	血小板	
目標値(人)	6,859	248,377	86,987	48,186	390,409
実績値(人)	8,622	251,766	79,687	46,796	386,871
達成率(%)	125.7	101.4	91.6	97.1	99.1

②献血血液確保量

	全血献血		成分献血		合計
	200mL	400mL	血漿	血小板	
目標値(L)	1,372	99,351	48,046	25,730	174,499
実績値(L)	1,724	100,706	43,376	25,838	171,644
達成率(%)	125.7	101.4	90.3	100.4	98.4

③採血場所別献血者数

	血液センター	献血ルーム	移動採血車 (オープン献血含む)	合計
目標値(人)	22,365	253,436	114,608	390,409
実績値(人)	22,503	249,146	115,222	386,871
達成率(%)	100.6	98.3	100.5	99.1

取組事例

- ・大阪府、赤十字血液センター、市町村献血推進協議会との連携によるキャンペーンの実施
- ・ラブラッド登録の推進
- ・献血協力企業数の拡大
- ・雑誌、デジタルサイネージ、SNS等各種媒体による広報活動

2. 若年層対策

目標値

①年代別献血者数

	10代	20代	30代	40代以上	合計
目標値(人)	18,651	65,500	66,300	239,958	390,409
実績値(人)	14,238	58,315	55,957	258,361	386,871
達成率(%)	76.3	89.0	84.4	107.7	99.1

②献血セミナー

目標値(回)	25
実績値(回)	27
達成率(%)	108

取組事例

- ・献血セミナー
- ・献血おもしろゼミナール
- ・献血啓発作品ポスター原画募集事業
- ・雑誌、デジタルサイネージ、SNS等各種媒体による広報活動

目標達成状況の概要

- ・令和4年度の大阪府における献血者数は合計 386,871 人であり、目標値達成率 99.1% と、全体としては概ね目標は達成したといえる。
- ・一方で、成分献血における献血状況については、わずかに目標を下回っており、部分的には目標未達成。
- ・また、10代から30代の若年層献血者数については、依然として目標値と比較すると低い状況であることから、引き続き、若年層対策に積極的に取り組む必要がある。
- ・献血セミナー開催回数は、コロナ禍以降初めて目標値を達成した。

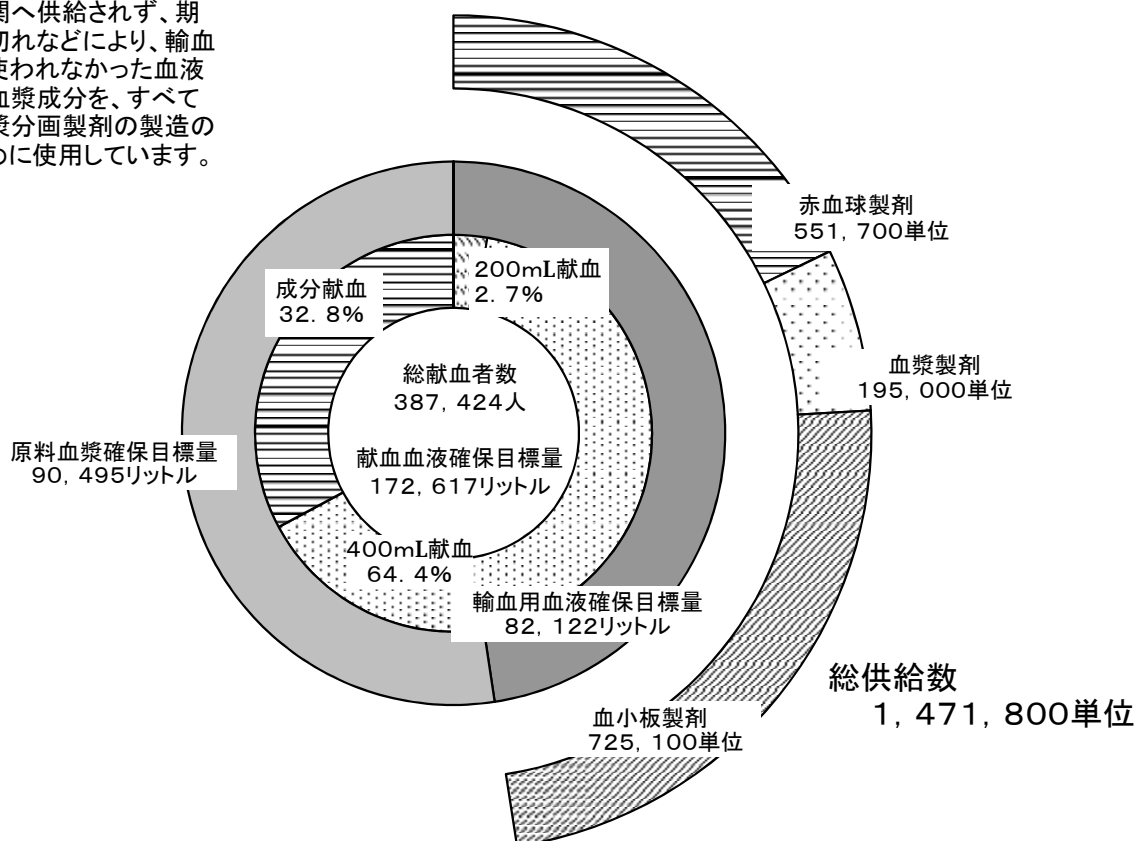
令和5年度 献血目標

献血していただいた血液は、医療機関に送られ、がん、血液や造血器の病気、各種感染症、やけど、交通事故などの患者さんの治療に幅広く使用されます。

・血漿分画製剤に必要な血漿量は、全国で120万リットル(令和5年度)です。

・血液センターでは、医療機関へ供給されず、期限切れなどにより、輸血に使われなかった血液の血漿成分を、すべて血漿分画製剤の製造のために使用しています。

*より一層の安全性向上のため、400mL献血の献血目標割合を、95.9%(全血献血中構成比)としました。



・医療機関では患者さんの病気や症状によりそれぞれ血液製剤が輸血されます。

・1単位は、約200mLの血液から得られる各製剤の量です。

	献血者数(人)	構成比(%)	献血量(L)	採血場所別献血者目標(人)			
				血液センター	献血ルーム	移動採血車(オープン献血含む)	
全血献血	200mL	10,592	2.7%	2,118	284	4,889	5,419
	400mL	249,651	64.4%	99,860	10,024	131,175	108,452
成分献血	血漿	80,199	32.8%	45,071	5,233	74,966	0
	血小板	46,982					
合計	387,424		172,617	21,179	252,374	113,871	

献血推進に係る大阪府の取組み

1. 会議の開催

- 市町村献血推進担当者会議（令和5年6月20日（火）大阪府赤十字血液センター）
- 大阪府献血推進審議会（令和6年2月8日（木）KKRホテル大阪）

2. 献血推進功労者等の顕彰

- 厚生労働大臣表彰状・感謝状（令和5年8月4日（金）KKRホテル大阪）
- 大阪府知事感謝状（令和5年8月4日（金）KKRホテル大阪）

3. 献血推進月間・キャンペーン

- 愛の血液助け合い運動（7月）
- 大阪府献血推進月間（12月）
- はたちの献血キャンペーン（1月～2月）

4. 各種広報活動

- 大阪府健康医療部保健医療室医療対策課HP、
大阪府のfacebook、X（旧Twitter）、メールマガジン等への掲載
- 「府政だより」への掲載
- デジタルサイネージ広告（梅田駅等）
- ラジオでの啓発（FM大阪）

5. 若年層の献血推進

- 献血作品募集事業
府内の15～28歳を対象として、献血推進についてのポスター原画を募集。
「カレンダー」、「しおり」を作成し、府内高校へ配布する予定。
（「しおり」は高校1年生全員に配布）
- 高校生による街頭キャンペーン（12月）

令和5年度 市町村献血推進協議会 街頭広報実施状況（7月「愛の血液助け合い運動」月間）

推進協議会名	実施日	実施場所	参加人数	配布物品
1 大阪市	7月中	各区役所、福祉センター	0人（窓口設置のため）	ポケットティッシュ計2,850個 ポスター掲示
2 堺市	7月6日	イオンモール堺北花田南側玄関付近	9人	ウェットティッシュ400個
	7月19日	北野田駅前	16人	ポケットティッシュ約300個、ウェットティッシュ約300個
	7月20日	梅・美木多駅前	29人	ウェットティッシュ580個
	7月24日	西区役所周辺	3人	ポケットティッシュ約300個、ウェットティッシュ約300個
3 岸和田市	7月28日	ビバモール美原南インター店 美原区役所	18人	ウェットティッシュ400個
	7月19日	南海岸和田駅前	6人	ポケットティッシュ500個
4 豊中市	7月22日	阪急曽根駅前	13人	ポケットティッシュ650個（通行人へ） クリアファイル、消毒液、ボールペン60セット（献血協力者）
5 池田市	6月28日	池田市保健福祉総合センター	1人	資料5部
	7月1日	池田市立北豊島小学校	1人	資料25部
	8月14日	池田市役所	2人	ティッシュ100枚、粗品60個、ハンドタオル40枚
6 吹田市	7月1日	各地区掲示板（33地区）	0人（掲示）	令和5年度「愛の血液助け合い運動」広報用ポスター1枚
	7月1日	吹田市役所庁内掲示板	0人（掲示）	令和5年度「愛の血液助け合い運動」広報用ポスター1枚
7 泉大津市	7月3日	泉大津駅前周辺	17人	啓発用ポケットティッシュ1,000個
8 高槻市	7月4日	エミル高槻	35人	ティッシュ約3000個、抗菌タオル約50個、ウェットティッシュ約50個、絆創膏セット綿棒セット約50個、3年おいしいクッキー約50個
9 貝塚市				実施なし
10 守口市	7月6日	守口市役所及び周辺	34人	ポケットティッシュ300個 レインコート300個
11 枚方市	7月11日	京阪枚方市駅献血ルーム前	33人	ティッシュペーパー2,500個
12 茨木市	7月3日～	茨木市役所本館2階医療政策課事務室前	2人	ポケットティッシュ約1,000個
	7月31日			
13 八尾市	7月27日	茨木市役所南館1階 東玄関ロビー	2人	ポケットティッシュ約1,000個
	7月1日	各地域の催し・会合にて配布	60人	ポケットティッシュ1,500個
14 泉佐野市	7月10日	南海電鉄泉佐野駅前周辺		悪天候のため中止
15 富田林市	7月16日	エコー・ロゼ 南駐車場時計広場専門店入口前	31人	啓発用ポケットティッシュ3,000個、麦茶83個（採血者の粗品として）、BOXティッシュ24個（不採血者の粗品として）
16 寝屋川市				実施なし
17 河内長野市	7月11日	河内長野市役所	64人	ポケットティッシュ 150個
18 松原市	6月23日	松原市役所	約30人	献血チラシ入りティッシュ150個
19 大東市	7月7日	ポプタウン住道 スペイン広場	16人	ポケットティッシュ250個
20 和泉市	7月24日			実施なし
21 箕面市	7月12日	阪急箕面駅前 みのおサンプラザ周辺	33人	ポケットティッシュ1,000個
22 柏原市	7月7日	JR柏原駅周辺・近鉄河内国分駅周辺	18人	ポケットティッシュ3,000個、涼感ウェットティッシュ1,000枚
23 羽曳野市	7月25日	羽曳野市役所	7人	ポケットティッシュ250個、絆創膏250個
24 門真市	7月21日	京阪古川橋駅前広場	31人	ポケットティッシュ500個
25 摂津市	7月1日～	摂津市社会福祉協議会窓口	5人	ティッシュ1500個
	7月31日			
26 高石市	7月21日	高石駅前	4人	ティッシュ250個
27 藤井寺市	7月20日	イオン藤井寺ショッピングセンター	15人	ポケットティッシュ1000個
	7月14日	東大阪役所総合庁舎	1人	ポケットティッシュ300個、レジかごバック50個
28 東大阪市	7月20日	イオン鴻池店	1人	ポケットティッシュ300個、レジかごバック50個
	7月1日～7月31日	東大阪市保健所	1人	横断幕の掲載及び特別ブースの設置
29 泉南市	7月22日～7月23日	イオンりんくう泉南 イオンホール	2人	米900g 150個
30 四條畷市				実施なし
31 交野市				実施なし
32 大阪狭山市	7月25日	エバーグリーン狭山店	5人	ポケットティッシュ約200個
33 阪南市		泉鳥取高校	2人	ウェットティッシュ&啓発用ポケットティッシュ250個、大阪府のチラシ
	7月14日	市内公民館3か所（尾崎公民館・西鳥取公民館・東鳥取公民館）	2人	ポケットティッシュ1500個 ポケットティッシュ1500個
34 島本町	7月14日	阪急水無瀬駅前	13人	ポケットティッシュとボールペンのセット200個
35 豊能町	7月3日	豊能町立保健福祉センター	1人	啓発用ポケットティッシュ約50個
36 能勢町	7月24日	能勢町役場周辺	10人	ティッシュ、チラシ
37 忠岡町				実施なし
38 熊取町	7月3日	JR熊取駅周辺	14人	ポケットティッシュ1,000個
39 田尻町	7月20日	田尻町総合保健福祉センター 1階エントランスホール	2人	ポケットティッシュ50個
40 岬町	7月4日	岬町立保健センター 介護予防教室	60人	広報ティッシュ
	7月6日	淡輪老人保健センター	30人	
	7月7日	岬町立保健センター 介護予防教室	15人	
	7月8日	子育て支援センター みどりっこまつり	80人	
	7月10日	岬町立保健センター 健康フラ体操	30人	
	7月17日	子育て支援センター 乳幼児健康相談	5人	
	7月13日	深日会館	30人	
	7月19日	健康ふれあいセンター	11人	
	7月20日	深日会館 深日農協婦人部	30人	
	7月21日	岬町立保健センター 介護予防教室	15人	
	7月26日	望海坂第一集会所 出張ほのほのクラブ	7人	
7月23日	岬町立保健センター 乳幼児健診	11人		
41 太子町	7月21日	カインズ太子店	10人	ティッシュ約100個
42 河南町	8月16日	河南町役場庁舎及び周辺	4人	ポケットティッシュ300個
43 千早赤阪村	7月12日	いきいきサロン くすのき（献血会場） 村内全体（行政無線による啓発放送・広報車による音声案内とチラシにて啓発巡回）	8人	ポケットティッシュ 約300個 箱ティッシュ 50個 ハンドタオル 50枚 食器洗剤 50本

令和5年度 市町村献血推進協議会 機関紙等広報掲載実施状況（7月「愛の血液助け合い運動」月間）

推進協議会名	機関紙等名称	発行者名	掲載日	機関紙等名称	発行者名	掲載日
1	大阪市	福島区公式Twitter	7月10日			
2	堺市	西区広報誌 広報 nishinishi	7月1日	南区広報誌 広報みなみ	堺市南区	7月1日
		東区広報誌 広報ひがし	7月1日	美原区広報誌 広報美原	堺市美原区	7月1日
3	岸和田市	広報きしわだ	7月1日	社協だより第183号	岸和田市社会福祉協議会	7月1日
4	豊中市	広報とよなか7月号	7月1日			
5	池田市	広報いけだ	7月1日	いけだの社協	池田市社会福祉協議会	8月1日
		Facebook	6月7日	ホームページ	池田市社会福祉協議会	6月9日
6	吹田市			掲載なし		
7	泉大津市			掲載なし		
8	高槻市	社協だより 161号	7月1日	社協ホームページ	高槻市社会福祉協議会	随時更新
		社協LINE	月末に翌月分の更新	たかつきDAYS 7月1日号	高槻市広報室	7月1日
9	貝塚市	社協かいづか	7月5日			
10	守口市	ホームページ	6月21日～7月31日			
11	枚方市	枚方市社会福祉協議会ホームページ	月末に翌月分の更新			
12	茨木市			掲載なし		
13	八尾市	やお社協だより	7月20日	やお市政だより	八尾市	6月20日
		八尾市立社会福祉会館 掲示 板	7月1日～7月30日	映画館「MOVIX八尾」における 幕間CM	松竹マルチプレックスシア ターズ	7月21日～8月17日
		八尾市社会福祉協議会ホームページ	7月1日	八尾市社会福祉会館玄関での ティッシュ配布	八尾市社会福祉協議会	7月1日から
14	泉佐野市	市報 いずみさの	7月号・8月号			
15	富田林市	社協とんだばやし ホームページ	7月 7月1日	広報とんだばやし とんだばやしメール	富田林市	7月 7月11日
		Facebook	7月1日	富田林市役所LINE		7月13日
16	寝屋川市	社会福祉協議会だより 機 関紙「虹」第159号	5月1日	啓発ポスターの掲示	寝屋川市社会福祉協議会	7月18日～7月31日
		寝屋川市社会福祉協議会 ホームページ	7月1日～7月31日	寝屋川市社会福祉協議会 Instagram・Facebook	寝屋川市社会福祉協議会	7月11日から
17	河内長野市	広報 かわちながの	7月	ホームページ・Twitter・ ブログ	河内長野市社会福祉協議会	7月
18	松原市	広報まつばら	6月			
19	大東市	広報「だいとう」	7月1日			
20	和泉市	広報いずみ	7月号	和泉市庁舎内デジタルサイ ネージ	和泉市	7月
		和泉市小学校での掲示	7月号			
21	箕面市	箕面市広報紙「もみじだより」 7月号	7月1日			
22	柏原市	広報かしわら	7月号			
23	羽曳野市	広報はびきの7月号	7月1日			
24	門真市	広報かどま7月号	7月1日	門真市公式SNS	門真市	7月14日
25	摂津市	せつつ社協ニュース	6月15日			
26	高石市			掲載なし		
27	藤井寺市	広報ふじいでら	7月			
28	東大阪市	東大阪市政だより	7月1日	東大阪市電子行政ネット ワーク（職員用LANシステ ム）	東大阪市	7月1日～ 7月31日
29	泉南市	泉南市ホームページ	6月12日	泉南市広報誌	泉南市	7月1日
30	四條畷市	広報 四條畷LIFE	6月15日	しじょうなわてし社協だより 第98号	四條畷市社会福祉協議会	4月15日
		公式Twitter	7月3日			
31	交野市	広報かたの 7月号	7月			
32	大阪狭山市	広報おおさかさやま（7月号）	7月1日～7月31日			
33	阪南市	阪南市の広報「はんなん」	7月	阪南市ホームページ	阪南市健康増進課	7月1日～ 7月31日
		阪南市フェイスブック	7月1日から 7月31日	阪南市Twitter	阪南市健康増進課	7月1日～ 7月31日
		阪南市職員内掲示板	7月1日から 7月31日	愛の血液助け合い運動ポス ター掲示	厚生労働省作成分	7月1日～ 7月31日
34	島本町	広報しまもと7月号	7月1日	しまもと社協だよりV ol.197	島本町社会福祉協議会	7月15日
35	豊能町	広報紙「こんにちほ！とよ の社協です。」7月号	7月1日～			
36	能勢町			掲載なし		
37	忠岡町			掲載なし		
38	熊取町	広報くまとり7月号	7月1日	熊取町ホームページ	熊取町	7月1日
39	田尻町	田尻町総合保健センター1 階掲示板にポスター掲示	7月1日～ 7月31日			
40	岬町	LINE	6月30日			
41	太子町	太子町9月広報	9月号			
42	河南町	町広報誌「かなん」	8月1日			
43	千早赤阪村	村広報「ちはやあかさか」	7月1日			

各種広報活動

大阪府 facebook や大阪府公式 X (旧 Twitter)、大阪府が発信するメールマガジンやセミナーを利用した献血情報の周知・啓発を実施。

大阪府 facebook

投稿 基本データ 動画 写真 その他 ▾

大阪府
大阪府 12月5日 · 公開

【12月は大阪府献血推進月間です！】

特に冬場は、風邪などで体調を崩す方が多いことから、献血者が減少しがちです。
献血ができる場所をご存知ですか？
献血は府内各地に記事された献血バスや献血ルームで受け付けています。
近年、特に若年層の献血者が減少傾向にありますので、若年層の皆さん、積極的に献血にご協力をお願いします。

詳しくはこちら⇒
献血バスについて
https://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/place/m1_03_search.html
献血ルームについて
https://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/place/m1_01_00_index.html

月別献血者数推移

月	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	31,000	32,000	32,500
5月	32,000	33,000	33,500
6月	33,000	34,000	34,500
7月	32,000	33,000	33,500
8月	33,000	34,000	34,500
9月	32,000	33,000	33,500
10月	33,000	34,000	34,500
11月	32,000	33,000	33,500
12月	33,000	34,000	34,500
1月	32,000	33,000	33,500
2月	33,000	34,000	34,500
3月	32,000	33,000	33,500

シェア1件

大阪府公式 X

もずやん@大阪府広報担当副知事 @osakaprefPR

【献血のお願い】

10月に入り、寒暖差による体調不良など様々な要因が重なって、必要数に対し献血のご協力が少ない状況やねん！
輸血を必要とする患者さんに安定的に血液をお届けするために、可能な限り早急な献血へのご協力をお願いします、やで！

▼献血会場案内▼
bs.jrc.or.jp/kk/osaka/place...

今、多くの方の献血のご協力が求められています

輸血を必要とする患者さんのため
ALT 早急な献血のご協力を！

健康経営セミナーでの啓発画像 (イメージ)

日本赤十字社と献血者の皆さまをつなぐWeb会員サービス

ラブラッド

ご登録をお願いします！

ご登録により、以下の内容がWebでご確認いただけます。

- 献血予約**
※どこでも献血予約が可能です！
ご予約はご希望時間の3時間前まで承っております。
- 事前問診**
献血当日に事前に行えるようになりました。所要時間の短縮にぜひ！
- 血液検査の確認**
平成17年4月以降の献血記録をいつでも確認することができます。
- ポイントがたまる！**
ご協力いただいた献血種別に応じて、ポイントが貯まります。20ポイントで記念品と交換が可能です。

輸血を必要としている患者さんへ、日々安定的に輸血用血液を届けられるよう、「献血のお願い」や「お知らせ」等をお送りしております。
皆様、愛の献血にご協力をおねがいします！

健康経営セミナーは、まもなく開始します。

FM大阪での啓発



デジタルサイネージによる啓発

大阪府献血推進月間（12月）では、梅田BIG MAN街頭ビジョンのほか、本府と包括連携協定を締結する日本生命、中西金属工業のご協力のもと、各社所有のデジタルサイネージにて献血啓発を実施。

梅田BIG MAN街頭ビジョン



日本生命本店デジタルサイネージ



若年層の献血推進

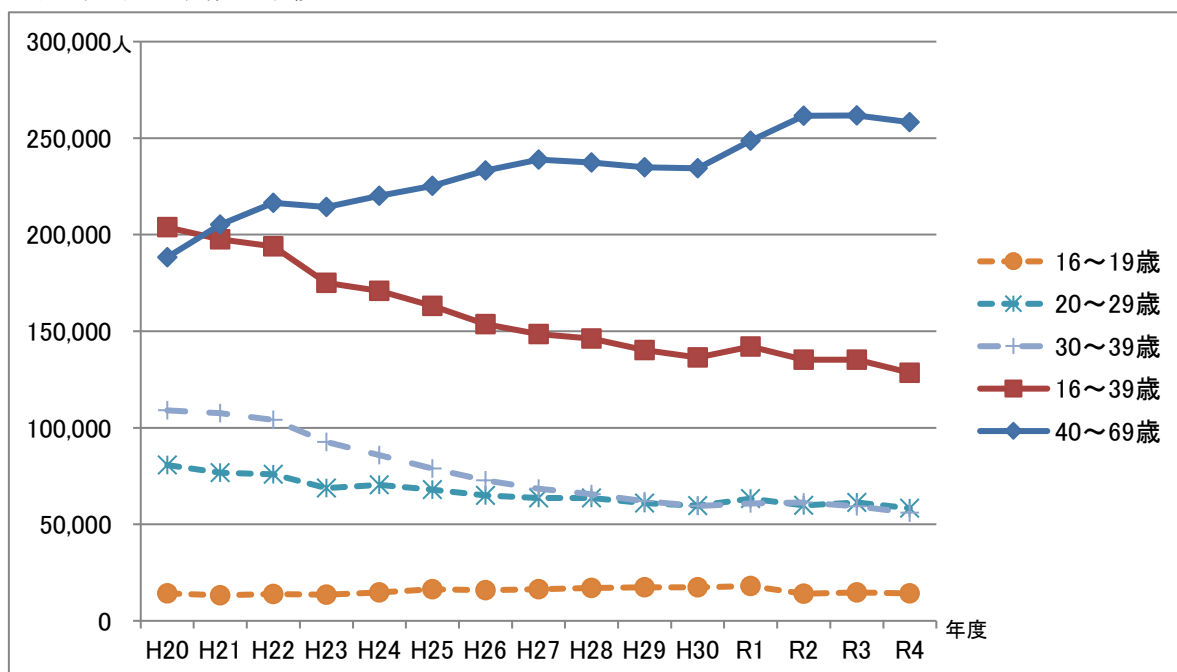
(現状)

令和4年度、若年層である10代から30代の献血者数は、全国で約166万人であり、平成20年度の約285万人から大きく減少している。大阪府内においても同様の傾向となっており、令和4年度は約13万人となり、平成20年度の約20万人の65%となっている。

厚生労働省は、平成29年度より、総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、都道府県毎に、年代別の献血者数の目標を設定する通知を発出している(別紙のとおり)。

将来の献血基盤の確保という観点からは、若年層の献血推進が非常に重要であることから、大阪府では、安定した献血者を確保するために、若年層向けの啓発が重要と考えている。

大阪府の献血者数の推移



年代別の献血者数について

若年層の年代別献血者数(括弧内は4~12月の9か月間)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	年間目標
	献血者数	献血率	献血者数	献血率	献血者数	献血者数
16~19歳	14,665 (11,145)	4.4%	14,238 (11,141)	4.5%	— (9,831)	18,651
20~29歳	61,273 (46,148)	6.3%	58,315 (44,754)	6.0%	— (43,522)	65,500
30~39歳	59,319 (44,709)	5.8%	55,957 (42,005)	5.6%	— (40,999)	66,300

事務連絡
令和5年3月31日

各都道府県薬務主管課 御中

厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課

令和5年度の目標献血者数（都道府県・年代別）について

血液事業の推進につきましては、日頃より格別の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

「令和5年度に献血により受け入れる血液の目標量について（依頼）」（令和4年11月9日付け事務連絡）により、都道府県赤十字血液センターと協議していただいた翌年度の目標献血者数（都道府県・年代別）につきまして、別添のとおり取りまとめ版を送付いたします。

目標献血者数の達成に向けて、特に若年層を対象とした献血の普及啓発に御協力のほどよろしくお願いいたします。

【連絡先】

厚生労働省医薬・生活衛生局

血液対策課献血推進係

電話：03-5253-1111（内線 2908）

03-3595-2395（直通）

令和5年度の目標献血者数(都道府県・年代別)

年代	10代		20代		30代		40代以上		総献血者数	10～30代 構成比
	16歳～19歳		20～29歳		30～39歳		40～69歳			
都道府県	計画数	構成比	計画数	構成比	計画数	構成比	計画数	構成比		
北海道	11,800	4.7%	37,400	14.9%	40,000	16.0%	161,070	64.4%	250,270	35.6%
北海道ブロック	11,800	4.7%	37,400	14.9%	40,000	16.0%	161,070	64.4%	250,270	35.6%
青森県	2,372	5.3%	7,557	16.9%	8,631	19.2%	26,278	58.6%	44,838	41.4%
岩手県	2,333	5.5%	7,536	17.7%	8,554	20.1%	24,068	56.6%	42,491	43.4%
宮城県	4,580	5.2%	17,394	19.7%	18,966	21.5%	47,133	53.5%	88,073	46.5%
秋田県	1,664	4.6%	5,171	14.4%	6,219	17.3%	22,841	63.6%	35,895	36.4%
山形県	2,115	5.5%	6,622	17.2%	7,591	19.7%	22,225	57.6%	38,553	42.4%
福島県	3,789	5.3%	12,702	17.8%	13,928	19.6%	40,788	57.3%	71,207	42.7%
東北ブロック	16,853	5.2%	56,982	17.7%	63,889	19.9%	183,333	57.1%	321,057	42.9%
茨城県	6,898	6.7%	14,340	14.0%	17,550	17.1%	63,615	62.1%	102,403	37.9%
栃木県	9,740	11.0%	11,760	13.3%	15,440	17.5%	51,475	58.2%	88,415	41.8%
群馬県	5,710	6.5%	12,460	14.1%	16,170	18.4%	53,757	61.0%	88,097	39.0%
埼玉県	13,330	5.5%	34,710	14.4%	40,730	16.9%	152,864	63.3%	241,634	36.7%
千葉県	10,879	4.8%	36,110	15.9%	40,480	17.9%	139,113	61.4%	226,582	38.6%
東京都	24,299	4.1%	123,220	20.9%	118,380	20.1%	323,275	54.9%	589,174	45.1%
神奈川県	15,358	4.7%	45,210	13.8%	54,450	16.7%	211,648	64.8%	326,666	35.2%
新潟県	4,509	5.0%	15,980	17.9%	17,270	19.3%	51,578	57.7%	89,337	42.3%
山梨県	2,887	8.4%	5,040	14.6%	5,710	16.5%	20,912	60.5%	34,549	39.5%
長野県	3,301	4.4%	11,230	14.9%	13,900	18.5%	46,819	62.2%	75,250	37.8%
関東甲信越ブロック	96,911	5.2%	310,060	16.7%	340,080	18.3%	1,115,056	59.9%	1,862,107	40.1%
富山県	2,051	5.7%	5,729	15.9%	6,293	17.5%	21,877	60.9%	35,950	39.1%
石川県	2,433	5.8%	6,161	14.7%	7,163	17.1%	26,083	62.3%	41,840	37.7%
福井県	1,608	5.9%	3,948	14.5%	4,960	18.2%	16,695	61.4%	27,210	38.6%
岐阜県	4,035	6.1%	9,537	14.3%	11,904	17.9%	41,064	61.7%	66,540	38.3%
静岡県	7,301	5.6%	18,430	14.2%	24,057	18.6%	79,592	61.5%	129,380	38.5%
愛知県	16,283	5.7%	47,503	16.6%	56,244	19.7%	166,040	58.0%	286,070	42.0%
三重県	3,521	5.7%	9,049	14.7%	11,416	18.5%	37,624	61.1%	61,610	38.9%
東海北陸ブロック	37,232	5.7%	100,356	15.5%	122,037	18.8%	388,975	60.0%	648,600	40.0%
滋賀県	2,767	5.2%	7,160	13.6%	9,560	18.1%	33,335	63.1%	52,822	36.9%
京都府	5,325	5.0%	17,500	16.4%	16,100	15.1%	67,975	63.6%	106,900	36.4%
大阪府	18,651	4.8%	65,500	16.9%	66,300	17.1%	236,973	61.2%	387,424	38.8%
兵庫県	11,705	5.7%	32,518	15.7%	37,715	18.2%	125,137	60.4%	207,075	39.6%
奈良県	2,124	4.5%	6,940	14.6%	8,260	17.4%	30,247	63.6%	47,571	36.4%
和歌山県	2,486	6.2%	5,100	12.6%	6,800	16.8%	25,979	64.4%	40,365	35.6%
近畿ブロック	43,058	5.1%	134,718	16.0%	144,735	17.2%	519,646	61.7%	842,157	38.3%
鳥取県	918	4.3%	3,550	16.5%	4,850	22.6%	12,176	56.6%	21,494	43.4%
島根県	923	4.3%	2,931	13.5%	3,844	17.8%	13,949	64.4%	21,647	35.6%
岡山県	4,322	5.5%	12,032	15.3%	13,908	17.7%	48,225	61.4%	78,487	38.6%
広島県	6,492	5.6%	21,440	18.4%	23,377	20.1%	65,206	56.0%	116,515	44.0%
山口県	2,100	4.2%	5,956	12.0%	7,830	15.8%	33,788	68.0%	49,674	32.0%
徳島県	999	3.7%	4,267	15.7%	5,732	21.2%	16,099	59.4%	27,097	40.6%
香川県	1,872	5.1%	5,121	13.9%	7,066	19.2%	22,753	61.8%	36,812	38.2%
愛媛県	3,154	6.1%	9,615	18.7%	11,010	21.4%	27,669	53.8%	51,448	46.2%
高知県	1,282	4.5%	4,522	16.0%	5,452	19.2%	17,078	60.3%	28,334	39.7%
中四国ブロック	22,062	5.1%	69,434	16.1%	83,069	19.3%	256,943	59.5%	431,508	40.5%
福岡県	12,500	6.0%	35,128	16.9%	40,946	19.7%	119,764	57.5%	208,338	42.5%
佐賀県	1,859	5.5%	4,900	14.5%	6,070	18.0%	20,968	62.0%	33,797	38.0%
長崎県	2,639	4.8%	8,376	15.2%	10,907	19.8%	33,208	60.2%	55,130	39.8%
熊本県	4,050	5.6%	10,200	14.1%	13,200	18.3%	44,710	62.0%	72,160	38.0%
大分県	2,224	4.8%	6,489	14.0%	8,951	19.3%	28,659	61.9%	46,323	38.1%
宮崎県	2,339	5.5%	5,964	14.0%	7,488	17.6%	26,738	62.9%	42,529	37.1%
鹿児島県	3,233	5.2%	9,826	15.7%	12,091	19.4%	37,305	59.7%	62,455	40.3%
沖縄県	2,916	5.5%	8,460	16.0%	13,100	24.7%	28,538	53.8%	53,014	46.2%
九州ブロック	31,760	5.5%	89,343	15.6%	112,753	19.7%	339,890	59.2%	573,746	40.8%
合計	259,676	5.3%	798,293	16.2%	906,563	18.4%	2,964,913	60.1%	4,929,445	39.9%

「令和5年度 献血啓発作品 ポスター原画」 優秀作品

血液は、医療に必要不可欠なものであるにもかかわらず、科学技術が著しく進歩した現在においても、未だ人工的に造り出すことができません。

この状況を受け、献血者数の減少が著しい10代・20代の若者をターゲットに、府内に居住又は通勤・通学されている15歳から28歳までの方を対象に「献血の重要性」、「輸血によって救われる命の大切さ」を啓発するポスター原画を募集しました。その結果、高校生を中心に165作品もの応募をいただき、厳正な審査を経て、下記のとおり、優秀作品を決定しました。

今後、本作品を使ったポスター等の啓発物品を作成し、様々な献血広報に活用させていただく予定です。

募集期間 令和5年7月1日～令和5年9月30日

主催：大阪府 協力：日本赤十字社大阪府支部 協賛：大阪府赤十字血液センター

最 優 秀 賞



府立工芸高等学校
2年生 洲崎 由真さん

優秀賞 < 5 作品 >



府立港南造形高等学校
3年生 岡 穂ノ香さん



府立寝屋川高等学校
3年生 納 理一郎さん



府立工芸高等学校
2年生 桑原 胡花さん



府立工芸高等学校
2年生 高井 真奈さん



府立工芸高等学校
2年生 永井 杏那さん

入賞 < 6 作品 >



府立工芸高等学校
2年生 北中 はるさん



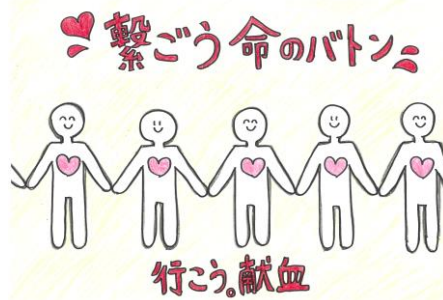
大阪商業大学高等学校
1年生 杉本 奈々葉さん



府立吹田東高等学校
1年生 辻岡 佑奈さん



府立工芸高等学校
1年生 平瀬 ほのかさん



府立吹田東高等学校
2年生 宮下 愛菜さん



大阪商業大学高等学校
2年生 行野 蒼空さん

作品展示



令和5年12月1日～12月22日、府庁本館1F正面玄関北側にて入賞作品を展示

「献血啓発作品ポスター原画作品募集事業」表彰式



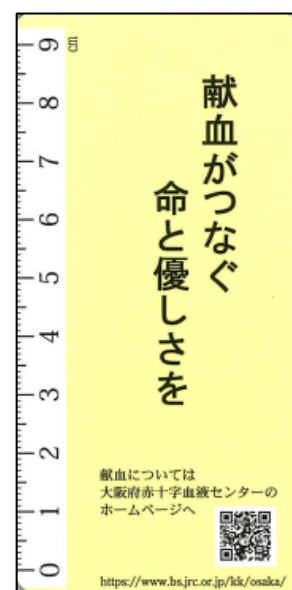
令和5年12月12日、大阪府庁正庁の間にて表彰式を実施

受賞作品を利用した啓発作品の例（昨年度作成版）

○カレンダー



○しおり



高校生街頭献血キャンペーン

1. 日 時 令和5年12月22日（金曜日） 午後3時頃から午後4時30分まで
2. 場 所 阪急グランドビル 25 献血ルーム周辺、西梅田献血ルーム周辺、あべの献血ルームK i Z o o N a 周辺
3. 参加者 府立北摂つばさ高等学校 生徒 4名、教員1名
府立港南造形高等学校 生徒 7名、教員2名
4. 内 容 街頭献血キャンペーン
(献血協力の呼びかけとティッシュ配布)



阪急グランドビル 25 献血ルーム周辺



西梅田献血ルーム周辺



あべの献血ルームK i Z o o N a 周辺



献血セミナー

○献血セミナーとは

学校に大阪府赤十字血液センターの職員が訪れ、献血や輸血について分かりやすく説明し意義や理解を深める出前講座。

実施の主体は、大阪府赤十字血液センターであり、実施に向けた周知については、大阪府、大阪府赤十字血液センター等が協力して行う。

○目的

生徒に日本赤十字社の活動を紹介し、健康といのちの大切さを伝える。献血をすることにより輸血を必要とする患者のいのちを救うことに自分たちも参加できるということを生徒たちに気付いてもらう機会とすること。

○献血セミナー内容

1. スライドによる説明

はじめに赤十字の沿革、理念、活動内容・実績を説明。その次に、献血についての説明の中でいのちの大切さを伝える。

2. 映像放映

献血に関する映像と輸血を受けた患者さんに関する映像を鑑賞する。

内容については、打ち合わせや事前の教員の方々への献血セミナーも実施可能であり変更も対応。

また、要望により輸血を受けた患者や、その御家族の感謝の声を伝える講演も行う。

○令和5年度献血セミナー実施回数（12月末現在）

33回

参考) 過去献血セミナー実施回数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高等学校での実施	23	40	18	20	27

令和4年度献血セミナー実施状況（出典 大阪府赤十字血液センター献血資料）

	回数	人数
小学生	3	80
中学生	0	0
高校生	27	4,545
大学生	9	417
専門学校生	5	284
その他	27	1,020
合計	71	6,346

若年層の献血推進について今後の方針

次の活動を実施

- (1) 献血啓発作品ポスター原画募集
- (2) 高校生による献血キャンペーン
- (3) 献血セミナーの周知
- (4) 広報誌やSNS、デジタルサイネージ等を活用し、献血の情報を提供
- (5) 構成年齢層として 30 代が多い小学校PTAや青年会議所などの団体へ献血推進を働きかける。

大阪府学生献血推進協議会 活動報告

大阪府学生献血推進協議会
会長 中原喜奈

大阪府学生献血推進協議会

目的 若年層の献血の推進

組織 3大学の奉仕団と1大学のボランティア部
+個人加盟のメンバー 計約300人

活動 役員会 献血キャンペーン SNS更新など



本年度の活動



5 May 皐月



第1回近畿ブロック会議



新歓



新人研修会



森わく

6月



交流



呼びかけ









方針

- SNSを使用した広報に力をいれる
→たくさん投稿する&フォロワーの増加を目指す
- 呼びかけの回数増加

SNS

昨年度に引き続き

- 土日の献血バスの運行予定のお知らせ

osakagakusui

土・日 献血バス運行スケジュール

駅名	受付時間
大塚府八尾市 <ul style="list-style-type: none">近鉄八尾駅前(清水御広場)大塚府八尾中央町1-5-97	10:00~16:30 400mL 献血限定 ※マイオンストラップ
大塚府南河内郡 河内町 (献血受付時間終了の15分前まで受付)	10:00~16:30 400mL 献血限定
大塚府西織野市 <ul style="list-style-type: none">医療法人松吉会 松吉医院大塚府西織野中央町17-30	10:00~12:00 13:00~16:30 400mL 献血限定 ※マイオンストラップ
大塚府大東市 <ul style="list-style-type: none">ポップタウン住進スベイン広場大塚府大東市赤井1-4-1	10:00~12:00 13:00~16:30 400mL 献血限定
大塚府大東市 中央区 (献血受付時間終了の15分前まで受付)	10:00~16:30 400mL 献血限定 ※マイオンストラップ
大塚府岸和田市 <ul style="list-style-type: none">アクロスプラザ岸和田店大塚府岸和田市上寺町4-2-1	10:00~12:00 13:00~16:30 400mL 献血限定 ※マイオンストラップ
大塚府箕面市 <ul style="list-style-type: none">みのお キューズモール大塚府箕面市西町1-17-22	10:00~12:00 13:00~16:30 400mL 献血限定 ※マイオンストラップ

献血受付時間終了の15分前まで受付

[インサイトを見る](#) [投稿を宣伝](#)

SNS

昨年度に引き続き

- 土日の献血バスの運行予定のお知らせ
- 活動報告



SNS

昨年度に引き続き

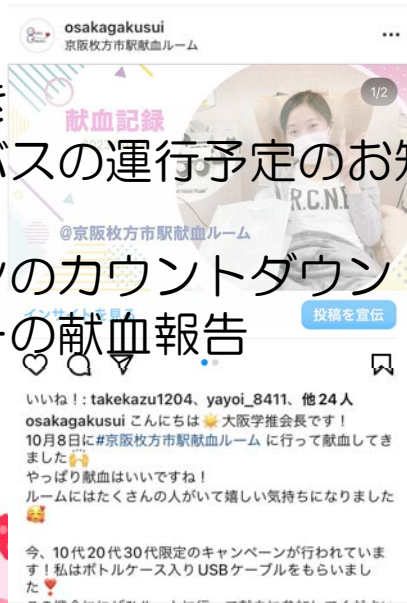
- 土日の献血バスの運行予定のお知らせ
- 活動報告
- キャンペーンのカウントダウン



SNS

昨年度に引き続き

- 土日の献血バスの運行予定のお知らせ
- 活動報告
- キャンペーンのカウントダウン
- 学推メンバーの献血報告



SNS

今年度は新たに

- 4月1日に学推の紹介動画を投稿



SNS

今年度は新たに

- 4月1日に学推の紹介動画を投稿
- 献血ルームのイベント情報の発信



SNS

今年度は新たに

- 4月1日に学推の紹介動画を投稿
- 献血ルームのイベント情報の発信
- 月末にその月のまとめを投稿



SNS

今年度は新たに

- 4月1日に学推の紹介動画を投稿
- 献血ルームのイベント情報の発信
- 月末にその月のまとめを投稿
- 大阪府の献血推進月間に合わせた投稿(全4回)



呼びかけ

献血キャンペーン

- セタキャンペーン(7月2日)
- クリスマスキャンペーン(12月23,24日)

※サマーキャンペーンは台風により中止

3月にもキャンペーンを予定！

けんけつちゃん
七夕キャンペーン

京橋駅前広場
採血者数：76人
HEP FIVE
採血者数：57人

学推メンバーも
献血に参加！

たくさんのご協力
ありがとうございました！

saka
akusui

クリスマスキャンペーン

2023/12/23
HEP FIVE前：受付数39名、採血者数29名
京橋駅前広場：受付数64名、採血者数50名
2023/12/24
HEP FIVE前：受付数40名、採血者数31名
京橋駅前広場：受付数82名、採血者数68名

ご協力ありがとうございました

命を救う
献血

命を救う
献血

命を救う
献血

命を救う
献血

saka
akusui



セレッソ献血

2023/10/28

献血受付数：69名
採血者数：50名
ご協力ありがとうございました！



←看板を持って会場で呼びかけ

合計

23,948 歩

いっぱい歩いた！

2023年10月28日 土曜日



みんなでクレープ



呼びかけ

キャンペーン以外にも呼びかけ



←ティッシュ配りもした



呼びかけ

東方紅楼夢のイベントに参加

東方紅楼夢×近畿学推



献血、アンケート、SNSのフォロー、ラブレードアプリの登録など、ご協力ありがとうございました!



呼びかけ

大阪青年会議所さんとのイベントに参加

- ・ 献血セミナーの実施とラブラッド登録を呼びかけ

大阪青年会議所さん とのイベント

2023/10/29

セミナー参加者数：34人
ラブラッド登録者数：35人

ご参加頂きありがとうございました！





ご清聴ありがとうございました



今年度も1年間
ありがとうございました！

(案)

大阪府献血推進計画

大 阪 府

令和6年(2024年)〇月

目 次

第1	目的及び基本理念	1
	1. 目的	1
	2. 基本理念	1
第2	計画目標.....	1
	1. 献血者数、献血血液量	1
	2. 年代別献血者数	2
	3. 献血セミナー数	2
第3	献血推進.....	2
	1. 役割	2
	2. 推進体制の整備	3
	3. 方策	4
<資料>	令和6年度献血目標	8

大阪府献血推進計画

第1 目的及び基本理念

1. 目的

大阪府をはじめ全国的に少子高齢社会が進行する中、輸血用血液製剤及び血漿分画製剤（以下「血液製剤」という。）の国内自給の原則に基づき、大阪府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターが連携し、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発や、効率的な献血の実施を図り、年間を通じて献血者を安定的に確保することにより、府内で必要とされる輸血用血液を医療機関に安定的に供給することを目的とする。

2. 基本理念

大阪府の献血推進に当たっては、以下の基本理念にのっとり進めるものとする。

(1) 血液製剤の国内自給

血液製剤は、原料である血液を介した感染症等の発生の危険性を完全には排除できないものであり、国内献血に由来する血液製剤であれば感染源の特定・回収等の対応が迅速に取りやすいことから、国内で献血された血液から製造されるもので賄わなければならない。

(2) 安全性の向上

血液製剤は、原料である血液の特性から、常に安全性向上の努力が必要である。また、使用にあたっては、危険性に対する配慮が求められる。

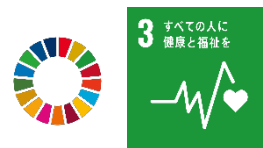
(3) 適正使用の推進

血液製剤が人の血液に由来する有限で貴重なものであることから、医療機関において血液製剤の適正使用を一層推進することが必要である。

(4) 血液事業の情報の公開

血液製剤は、献血者の善意から得られた血液を用いていることから、情報を積極的に府民へ提供する必要がある。

なお、本計画は、平成27年（2015年）9月に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」の理念を踏まえたものであり、各取組の推進により、関連するゴールの達成に貢献する。



第2 計画目標

1. 献血者数、献血血液量

国の示す献血確保目標量及び原料血漿確保目標量に基づき、医療機関への輸血用血液製剤の供給量を考慮し、献血者確保数等を定める。

①献血者数（200mL、400mL、成分献血）、献血血液量確保目標量

	全血献血		成分献血		合計
	200mL	400mL	血漿	血小板	
献血者数（人）	5,386	251,700	82,220	47,710	387,016
献血血液確保目標量（L）	1,077	100,680	46,715	25,988	174,460

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。

②採血場所別献血者数

採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車（オープン献血含む）
献血者数（人）	19,846	256,847	110,323

③原料血漿確保目標量、輸血用血液確保目標量

原料血漿確保目標量： 92,916L

輸血用血液確保目標量：81,544L

（詳細は資料参照）

2. 年代別献血者数

総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、年代別献血者数を定める。

	献血者数（人）	構成比
10代（16～19歳）	19,599	5.1%
20代（20～29歳）	65,500	16.9%
30代（30～39歳）	66,300	17.1%
40代以上（40～69歳）	235,617	60.9%
合計	387,016	100.0%

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。

3. 献血セミナー数

これからの献血を担う若年層への教育の推進を目的として、高等学校等における「献血セミナー」開催の目標回数を定める。

「献血セミナー」開催目標回数：35回

第3 献血推進

府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、それぞれ分担する業務を確実に遂行するとともに、十分な連携を図り、国が策定する基本方針を踏まえながら、府民、学生献血推進ボランティアをはじめ各種献血協力団体の理解と協力のもとに献血を推進する。特に、将来に亘る血液の安定供給につながる若年層への啓発に取り組む。

1. 役割

(1) 府

府は、翌年度の大阪府献血推進計画を策定する。その場合、大阪府献血推進審議会において審議するものとする。また、広域的な広報・啓発を通して広く府民の理解と協力を求

めるため、市町村献血推進協議会の活動を支援するとともに、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センター、市町村等の相互間の調整を行い、円滑な献血推進に努める。

(2) 市町村

府、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターと連携のもとに、市町村管内の献血者の計画的な確保に努める。

また、市町村献血推進協議会と連携し、地域における献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発に努める。

(3) 日本赤十字社大阪府支部・大阪府赤十字血液センター

本府の献血確保目標を達成するため、献血受入計画を策定するとともに、近畿ブロック血液センターと連携をしながら、採血から製造、供給に至るまでその効率化を図り、献血血液の有効利用に努める。

また、血液製剤の安全性の向上及び安定供給に協力するとともに、献血者等の保護に努める。

2. 推進体制の整備

目標を達成するため、行政機関、血液事業関係者、民間企業、ボランティア献血組織等の府全体の献血推進組織体制を整備し、連携の強化に努める。

(1) 府

①大阪府献血推進審議会の開催

大阪府における献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発や血液製剤の適正な使用に関する施策について審議する。

②市町村・市町村献血推進協議会等との連携

大阪府における献血状況、献血目標、事業計画を会議等で示し、市町村、市町村献血推進協議会、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターとの連携を図り献血を推進する。

③献血ボランティア組織等の育成や献血に協賛する企業の確保など献血推進体制の整備に努める。

④広域的な献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発体制の整備に努める。

⑤献血血液を有効に使用するため、医療機関における血液製剤の適正使用を推進する。

(2) 市町村

①市町村献血推進協議会等の開催

市町村において献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発並びに年間を通じた計画的な献血者の確保等、地域の献血に関する重要事項を協議する。

②地域住民への献血への理解と協力を求めるため、研修会、街頭キャンペーン、広報等の実施体制の整備に努める。

③献血ボランティア組織等の育成や献血に協賛する企業の確保など献血推進体制の整備に努める。

(3) 日本赤十字社大阪府支部・大阪府赤十字血液センター

①府、市町村との連携・協力のもとに、献血者への正しい知識や必要性、血液製剤につい

での普及啓発と受入体制の整備を図る。

②献血協力団体の組織等の育成及び献血者の円滑な受入体制の整備に努める。

③企業等に対して、献血セミナーを実施し、献血の推進を図るとともに、献血に協賛する企業の円滑な受入に努める。

(4) 教育委員会・学校

小学校・中学校・高等学校の総合的な学習（探究）の時間等において、“献血セミナー”を活用する等、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発に努める。

また、府、市町村等が実施する献血推進イベント等の周知並びに参加を通し、児童・生徒へ献血の知識等の普及ができる体制を整備する。

(5) 献血協力団体

移動採血車等の受入れ時に関係者等と連携し、積極的に協力を呼びかけるとともに、進んで献血しやすい環境作りを推進することが望ましい。

3. 方策

(1) 普及啓発

献血は府民の善意によるものであることから府民啓発は必要不可欠であるので、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、ボランティア等関係者の理解と協力を得て、各種イベントの実施、推進月間でのキャンペーンの実施、マスメディアによる継続的な広報、SNSを含むインターネットの活用、献血啓発作品の募集事業の活用等を行うことで、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発を実施する。

1) 若年層献血の推進

小学校・中学校・高等学校、大学及び専門学校における“献血セミナー”の開催や、“献血セミナー”等をきっかけとして献血に関心を持った献血未経験者等への献血Web会員サービス「ラブラッド」の登録の働きかけ、若年層による献血キャンペーン等を実施することで、若年層の献血への参加を一層推進する。

特に高校生等の献血時には、400mL献血の基準に満たない場合、200mL献血による受入れも考慮する。

2) 複数回献血の推進

血液製剤の安全性の向上及び安定的な確保を図るために、「ラブラッド」会員募集を強化するとともに、「ラブラッド」を活用し、献血等に関する情報の提供など利用者へのサービス向上を図り、複数回献血者の増加に努める。

特に若年層に対し、上記1)等の取組を通じて、複数回献血の推進を図る。

3) 400mL献血、成分献血の推進

献血量の効率的な確保と安全性を高めるために400mL献血、成分献血の一層の推進に努める。

また、近年需要が増大している血漿分画製剤について、献血から得られた血液を原料とすることや、多くの疾患の治療に欠かすことができないことなどを周知するとともに、安定供給が確保されるよう、成分献血への協力の呼びかけを強化する。

4) 検査目的の献血の防止

感染症の検査を目的とした献血を防止するための啓発を実施する。特にH I V検査については、下記の点を周知する。

- ・血液センターでは、献血によるH I V検査の結果は通知していない
- ・府内保健所等で匿名かつ無料でのH I V検査を行っている

5) 採血基準の周知

採血基準について、引き続き関係機関への周知や広報等を利用し、情報発信を行う。

(2) 献血推進の環境整備

府、市町村、大阪府赤十字血液センターは、献血者の受入体制を整備する観点から、身近な地域・場所で献血を行うことができるように環境を整備する。

また、府及び市町村等は、その構成員に対し、ボランティア活動である献血に対し積極的に呼びかけるとともに、進んで献血しやすい環境作りに努める。

①大阪府赤十字血液センター

- 1) 「献血者等の健康被害の補償に関するガイドライン」に基づき、健康被害に対する救済のための措置を実施する。
- 2) 採血に際して献血者の健康管理に資する検査を行い、献血者の希望を確認してその結果を通知することで健康管理サービスの充実を図る。
- 3) 献血希望者に対して、個人情報取り扱いや血液の利用目的等の説明を行い、同意を得た上で、献血を受け入れる。
- 4) 特に初回献血者が抱えている不安等を軽減することはもとより、献血者の安全確保を図ることが必要である。このため、採血の手順や採血後に十分な休憩をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、映像やリーフレット等を活用した事前説明を採血の度ごとに十分に行う。
- 5) 献血ができなかった献血申込者に対し、その理由（低ヘモグロビン等）について分かりやすく説明するとともに、食事・生活管理の改善に関する啓発を行うなど、その後の献血推進への協力を繋がるよう配慮する。
- 6) 新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、献血者が安心して献血できるよう感染症対策を十分に行うとともに、献血者への対策についての情報発信を適切に行う。

②府、市町村、大阪府赤十字血液センター

- 1) 年間を通して献血者の安定確保ができるように、移動採血車による計画的採血及び献血場所の利便性の向上に努める。
- 2) 献血者に配慮した献血受入時間帯の設定等、献血者の利便性に配慮した献血受入体制の整備及び充実を図る。特に、「ラブラッド」を活用したWEB予約の推進等に積極的に取り組む。
- 3) 企業等の献血協力団体の理解と協力を得て、効率的な献血が行えるように体制整備に努める。特に若年層の労働者の献血への参加を一層推進する。

(3) 血液製剤の安全性確保

血液製剤の安全性確保のために、以下の方策を講じる。

①大阪府赤十字血液センター

献血受付時に本人確認を行い、より安全な血液を確保するために、H I V等の感染症の検査を目的とした献血を行わないよう、平素から様々な広報手段を用いて、府民に周知徹

底する。

②府、市町村、大阪府赤十字血液センター

- 1) 血液製剤の安全性向上のために、400mL献血、成分献血の一層の推進を図る。
- 2) 血液製剤の安定供給や安全性確保のために、複数回献血者の確保に努める。

(4) 血液製剤の適正使用

府、大阪府赤十字血液センターは、各医療機関における血液製剤の適正使用の推進を図り、院内の輸血管理体制を構築するために設置されている輸血療法委員会の活性化の推進に努める。

(5) ボランティア等の育成

府、市町村、大阪府赤十字血液センターは相互に連携し、ボランティア等協力団体に献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての理解と協力を求め、献血推進の活性化につなげる。

また、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、教育委員会等の協力を得ながら、職域、地域、学校等におけるボランティア等協力団体の育成に努め、献血推進の活性化を図る。

(6) 情報の公開

府、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは献血及び血液製剤に関する情報を積極的に公開する。

- 1) 献血者の個人情報保護のもとに、献血血液の確保・利用状況や血液製剤の安全性に関する情報をわかりやすい形で広く府民に公開する。
- 2) 現在開設しているホームページを充実させ、積極的かつ継続的に情報を提供する。

(7) 血液製剤の在庫状況の把握と不足時の対応

①府

赤血球製剤等の在庫状況を常に把握する。また、在庫が不足または不足すると予測される場合、広報による献血協力呼びかけ、臨時的に府職員献血等の実施、関係団体等への献血依頼等により、献血者の確保に努める。

②市町村

必要に応じて府等により提供される赤血球製剤等の在庫状況により府内の現状を把握し、在庫が不足または不足すると予測される場合、市町村献血推進協議会との連携等により、臨時的に地域献血や市町村職員献血等を実施し、献血者の確保に努める。

③日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センター

府内の在庫状況を常に府へ情報提供するものとする。在庫が不足または不足すると予測される場合、献血協力呼びかけの強化を行う。また、受付時間の延長、配車計画の見直し等により、献血者の円滑な受入れに努める。

(8) 災害時、新興・再興感染症まん延時等における献血の確保

府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、互いに連携を図り、以下の方策を講じる。

- 1) 災害時等に医療需要に応じた必要な血液量を確保できるよう、様々な広報手段を用いて、献血への協力を呼びかける。その際、大阪府赤十字血液センターは、被害状況等の情報収集を行ったうえで、献血受入れの可否について判断するなど、献血者の安全に十

分に配慮する。

- 2) 大阪府赤十字血液センターは、災害時等における献血受入体制を構築し、関係者との通信手段の確保、広域的な需給調整の対応を含む事業継続計画を定め、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部と連携して対応できるよう備えることにより、災害時等における献血の受入れを行う。
- 3) 採血事業は、医療体制の維持に不可欠なものであることを踏まえ、大阪府赤十字血液センターは、新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止を図るとともに、様々な広報手段（テレビ、ラジオ、SNSを含むインターネット等）を用いて、献血者への協力を呼びかける。また、府及び市町村はこの取組を支援する。

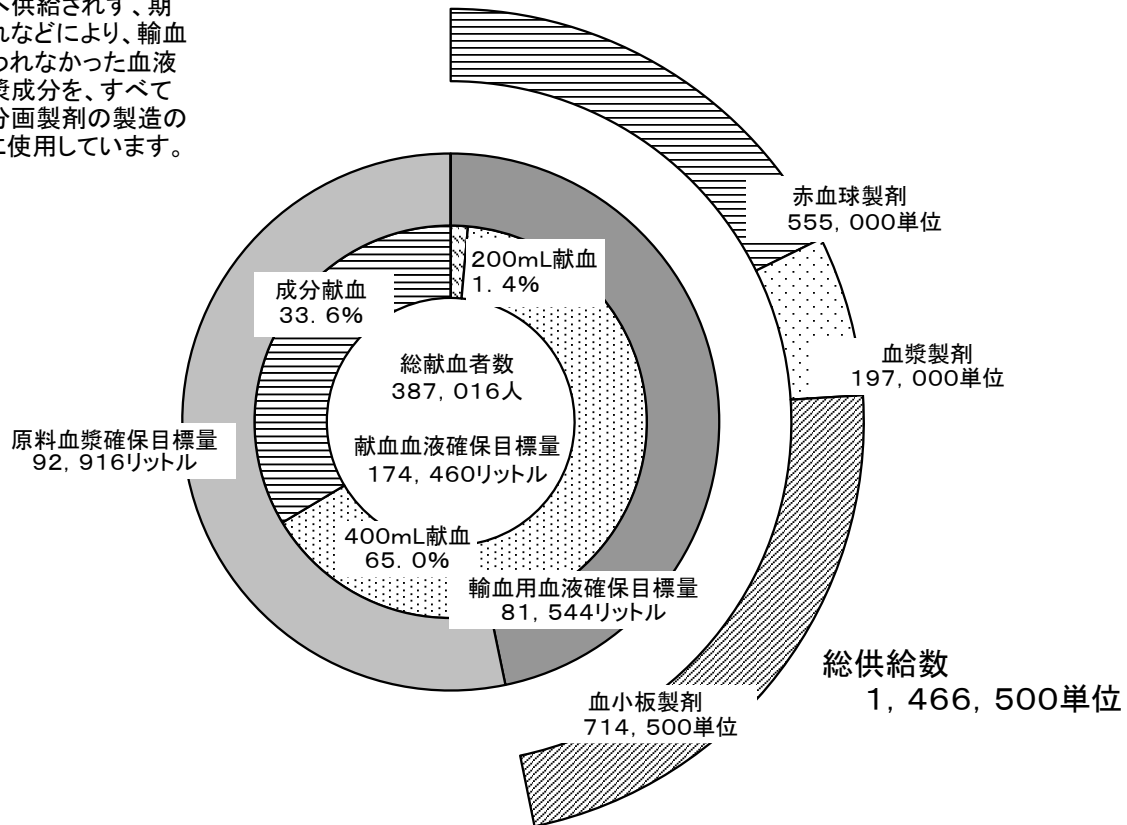
令和6年度 献血目標

献血していただいた血液は、医療機関に送られ、がん、血液や造血器の病気、各種感染症、やけど、交通事故などの患者さんの治療に幅広く使用されます。

・血漿分画製剤に必要な血漿量は、全国で123万リットル(令和6年度)です。

・血液センターでは、医療機関へ供給されず、期限切れなどにより、輸血に使われなかった血液の血漿成分を、すべて血漿分画製剤の製造のために使用しています。

*より一層の安全性向上のため、400mL献血の献血目標割合を、97.9%(全血献血中構成比)としました。





・医療機関では患者さんの病気や症状によりそれぞれ血液製剤が輸血されます。

・1単位は、約200mLの血液から得られる各製剤の量です。

	献血者数(人)	構成比(%)	献血量(L)	採血場所別献血者目標(人)			
				血液センター	献血ルーム	移動採血車(オープン献血含む)	
全血献血	200mL	5,386	1.4%	1,077	169	2,233	2,984
	400mL	251,700	65.0%	100,680	8,671	135,690	107,339
成分献血	血漿	82,220	33.6%	46,715	5,082	77,138	0
	血小板	47,710					
合計	387,016		174,460	19,846	256,847	110,323	

大阪府献血推進計画 新旧対照表

令和6年度献血推進計画	令和5年度献血推進計画	変更理由
<p>第1 目的及び基本理念</p> <p>2. 基本理念</p> <p>(4) 血液事業の情報の公開</p> <p>血液製剤は、献血者の善意から得られた血液を用いていることから、情報を積極的に府民へ提供する必要がある。</p> <p>なお、本計画は、平成27年（2015年）9月に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」の理念を踏まえたものであり、各取組の推進により、<u>関連するゴールの達成に貢献する。</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>第2 計画目標</p> <p>1. 献血者数、献血血液量</p> <p>国の示す献血確保目標量及び原料血漿確保目標量に基づき、医療機関への輸血用血液製剤の供給量を考慮し、献血者確保数を定める。</p> <p>①献血者数（200ml、400ml、成分献血）、献血血液量確保目標量</p>	<p>第1 目的及び基本理念</p> <p>2. 基本理念</p> <p>(4) 血液事業の情報の公開</p> <p>血液製剤は、献血者の善意から得られた血液を用いていることから、情報を積極的に府民へ提供する必要がある。</p> <p>第2 計画目標</p> <p>1. 献血者数、献血血液量</p> <p>国の示す献血確保目標量及び原料血漿確保目標量に基づき、医療機関への輸血用血液製剤の供給量を考慮し、献血者確保数を定める。</p> <p>①献血者数（200ml、400ml、成分献血）、献血血液量確保目標量</p>	<p>全庁方針を踏まえた追記</p>

	全血献血		成分献血		合計
	200mL	400mL	血漿	血小板	
献血者数 (人)	5,386	251,700	82,220	47,710	387,016
献血血液確保 目標準(L)	1,077	100,680	46,715	25,988	174,460

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない
場合があること。

②採血場所別献血者数

採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車(オー ブン献血含む)
献血者数 (人)	19,846	256,847	110,323

③原料血漿確保目標準、輸血用血液確保目標準

原料血漿確保目標準： 92,916 L

輸血用血液確保目標準：81,544 L (詳細は資料参照)

2. 年代別献血者数

総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、年代別献血者数を定める。

	献血者数 (人)	構成比
10代 (16～19歳)	19,599	5.1%
20代 (20～29歳)	65,500	16.9%
30代 (30～39歳)	66,300	17.1%
40代以上 (40～69歳)	235,617	60.9%
合計	387,016	100.0%

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない
場合があること。

	全血献血		成分献血		合計
	200mL	400mL	血漿	血小板	
献血者数 (人)	10,592	249,651	80,199	46,982	387,424
献血血液確保 目標準(L)	2,118	99,860	45,071	25,567	172,617

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない
場合があること。

②採血場所別献血者数

採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車(オー ブン献血含む)
献血者数 (人)	21,179	252,374	113,871

③原料血漿確保目標準、輸血用血液確保目標準

原料血漿確保目標準： 90,495 L

輸血用血液確保目標準：82,122 L (詳細は資料参照)

2. 年代別献血者数

総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、年代別献血者数を定める。

	献血者数 (人)	構成比
10代 (16～19歳)	18,651	4.8%
20代 (20～29歳)	65,500	16.9%
30代 (30～39歳)	66,300	17.1%
40代以上 (40～69歳)	236,973	61.2%
合計	387,424	100.0%

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない
場合があること。

時点更新

時点更新

時点更新

時点更新

<p>3. 献血セミナー数 これからの献血を担う若年層への教育の推進を目的として、高等学校等における「献血セミナー」開催の目標回数を定める。 「献血セミナー」開催目標回数：35回</p> <p>第3 献血推進 2. 推進体制の整備 (4) 教育委員会・学校 小学校・中学校・高等学校の総合的な学習（探究）の時間等において、“献血”を活用する等、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発に努める。 また、府、市町村等が実施する献血推進イベント等の周知並びに参加を通し、児童・生徒へ献血の知識等の普及ができる体制を整備する。</p> <p>3. 方策 (2) 献血推進の環境整備 ②府、市町村、大阪府赤十字血液センター 1) 年間を通して献血者の安定確保ができるように、<u>移動採血車による計画的採血及び献血場所の利便性の向上に努める。</u></p> <p>(6) 情報の公開 1) 献血者の個人情報保護のもとに、献血血液の確保・利用状況や血液製剤の安全性に関する情報をわかりやすい形で広く府民に公開する。</p> <p>(8) 災害時、新興・再興感染症まん延時等における献血の確保 3) 採血事業は、医療体制の維持に不可欠なものであることを踏まえ、</p>	<p>3. 献血セミナー数 これからの献血を担う若年層への教育の推進を目的として、高等学校等における「献血セミナー」開催の目標回数を定める。 「献血セミナー」開催目標回数：25回</p> <p>第3 献血推進 2. 推進体制の整備 (4) 教育委員会・学校 小学校・中学校・高等学校の総合的な学習の時間等において、“献血セミナー”を活用する等、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発に努める。 また、府、市町村等が実施する献血推進イベント等の周知並びに参加を通し、児童・生徒へ献血の知識等の普及ができる体制を整備する。</p> <p>3. 方策 (2) 献血推進の環境整備 ②府、市町村、大阪府赤十字血液センター 1) 年間を通して献血者の安定確保ができるように、<u>移動採血車の日程、及び献血場所の利便性の向上に努める。</u></p> <p>(6) 情報の公開 1) 献血者の個人情報保護のもとに、献血血液の確保・利用状況や血液製剤の安全性に関する情報をわかりやすい形で広く府民に公開し、<u>府民の理解を得て献血を推進する。</u></p> <p>(8) 災害時、新興・再興感染症まん延時等における献血の確保 3) 採血事業は、医療体制の維持に不可欠なものであることを踏まえ、</p>	<p>時点更新</p> <p>学習指導要領改訂を受けた文言修正</p> <p>より分かりやすい文章に修正</p> <p>不要な文言の削除</p>
---	---	--

<p>大阪府赤十字血液センターは、新興・再興感染症のまん延下の状況であつても、医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止を図るとともに、様々な広報手段（テレビ、ラジオ、SNSを含むインターネット等）を用いて、献血者への協力を呼びかける。また、府及び市町村はこの取組を支援する。</p>	<p>大阪府赤十字血液センターは、<u>新型コロナウイルス感染症等の新興・再興感染症のまん延下の状況</u>であつても、医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止を図るとともに、様々な広報手段（テレビ、ラジオ、SNSを含むインターネット等）を用いて、献血者への協力を呼びかける。また、府及び市町村はこの取組を支援する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の記載を削除</p>
---	--	---------------------------